

いじめの早期対応に関する研修資料
(研修担当者用)

愛媛県総合教育センター

教育相談室

はじめに

文部科学省の調査によると、近年、全国における小・中・高等学校及び特別支援学校のいじめの認知件数は増加傾向にある。文部科学省は、いじめの認知件数が多い学校について、「いじめを初期段階のものも含めて積極的に認知し、その解消に向けた取組のスタートラインに立っている」と肯定的に評価しており、いじめの対応に当たっては、ささいな事案も含めて積極的に認知し、早期に対応することが求められている。しかし、平成29年に文部科学省が発行した「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」には、「いじめの重大事態が発生しているにもかかわらず、法、基本方針及び調査の指針に基づく対応を行わないなどの不適切な対応があり、児童生徒に深刻な被害を与えたり、保護者等に対して大きな不信を与えたりした事案が発生している」と記載がある。そうした事案の発生を抑制するには、いじめの問題に対する教職員の対応力の向上が必要であると考えられる。

また、令和3年度に本室が実施した「いじめの早期対応に関するアンケート調査」からは、いじめの問題の解決に向けて、児童生徒やその保護者に寄り添って対応するための教育相談のスキルや、実効性を持って組織的に対応することの必要性を確認することができた。

そこで、本室では、いじめの早期対応に対する教職員の対応力の向上を図ることを目的に、校内研修で活用できる資料を作成した。本研修資料が、各学校におけるいじめの早期対応の一助となれば幸いである。

令和5年3月

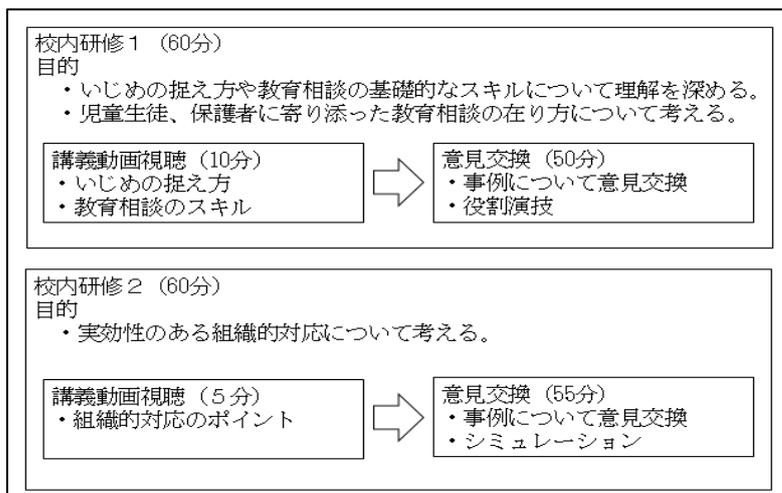
愛媛県総合教育センター
相談支援部教育相談室

目 次

| | | |
|---|---------------------|----|
| 1 | 研修資料の概要 | 1 |
| 2 | 研修の流れと手順 | 1 |
| | 【資料1】 校内研修1 | 2 |
| | ・ 実施手順（パターンA～D） | 3 |
| | ・ 事例資料（小、中・高等学校） | 7 |
| | ・ 講義動画シナリオ | 9 |
| | ・ 意見交換シナリオ（パターンA～D） | 17 |
| | ・ ワークシート（No.1～3） | 45 |
| | ・ ハンドブック資料 | 49 |
| | 【資料2】 校内研修2 | 51 |
| | ・ 実施手順（パターンE～H） | 52 |
| | ・ 事例資料（小、中・高等学校） | 56 |
| | ・ 講義動画シナリオ | 58 |
| | ・ 意見交換シナリオ（パターンE～H） | 62 |
| | ・ 意見交換の進め方配付資料 | 86 |
| | ・ ハンドブック資料 | 88 |

1 研修資料の概要

本研修資料は、年間2回の校内研修で活用することを想定して作成した。以下は、研修の目的と内容をまとめた図である。



各校内研修で使用する資料は、講義動画資料、意見交換資料（プレゼンテーション資料）、ハンドブック資料である。

2 研修の流れと手順

校内研修資料は、研修時間を60分間、講義動画を研修の中で集合して視聴することを想定して作成した。ただし、講義動画を事前に視聴したり、実施時間を90分にしたりすることで、意見校交換の時間の延長や、役割演技の発表グループを増やすなど、複数のパターンから選択して実施が可能である。下の表を参照して、各学校の研修時間等に合わせて選択いただきたい。

| 校内研修1 | | 校内研修2 | |
|---------------------|---|---------------------|--|
| パターンA (実施時間 60分) | <ul style="list-style-type: none"> 講義動画を集合で視聴 基本となる型 | パターンE (実施時間 60分) | <ul style="list-style-type: none"> 講義動画を集合で視聴 基本となる型 |
| パターンB (実施時間 60分) | <ul style="list-style-type: none"> 講義動画を事前に視聴 意見交換の時間を10分程度延長 | パターンF (実施時間 60分) | <ul style="list-style-type: none"> 講義動画を事前に視聴 意見交換の時間を5分程度延長 |
| パターンC (実施時間 90分) | <ul style="list-style-type: none"> 講義動画を集合で視聴 役割演技の発表回数を追加 意見交換の時間を10分程度延長 | パターンG (実施時間 90分) | <ul style="list-style-type: none"> 講義動画を集合で視聴 学校いじめ防止基本方針の説明を追加 意見交換の時間を15分程度延長 |
| パターンD (実施時間 90分) | <ul style="list-style-type: none"> 講義動画を事前に視聴 役割演技の発表回数を追加 意見交換の時間を20分程度延長 | パターンH (実施時間 90分) | <ul style="list-style-type: none"> 講義動画を事前に視聴 学校いじめ防止基本方針の説明を追加 意見交換の時間を20分程度延長 |

【資料 1】

校内研修 1

| 展開 | 時間 (分) | 進行内容 | 留意点 |
|-----------|--------|--|---|
| 導入 | 2 | ・ただいまから、いじめの早期対応に関する研修を はじめます。 ・研修の全体の流れを説明する。 | ・4～5人のグループをあらかじめ 作っておく。 ・資料を配付しておく。 |
| | 10 | ・動画を再生する。 | ・パソコン、プロジェクターを準備 しておく。 |
| 意見交 換1 | 2 | ・スライド1～3を進行する。 | |
| | 2 | ・スライド4を進行する。 | ・事例を読むスピードはゆっくり と。 |
| | 4 | ・スライド5～6前半までを進行する。 (個人ワーク) | |
| | 7 | ・スライド6後半を進行する。 (グループ意見交換) | |
| | 6 | ・スライド7を進行する。 (全体発表) | |
| | 1 | ・スライド8～9を進行する。 (場面1のまとめ) | |
| 意見交 換2 | 4 | ・スライド10～11前半までを進行する。 (個人ワーク) | |
| | 7 | ・スライド11後半を進行する。 (グループ意見交換) | |
| | 6 | ・スライド12を進行する。 (全体発表) | |
| | 3 | ・スライド13～15を進行する。 (場面2のまとめ) | |
| まとめ | 4 | ・スライド16～17を進行する。 | ・事前に校長先生(教頭先生)に指 導助言を依頼しておく。 |
| | 2 | ・次回の予告をする。(日時、場所等) | |

60分

いじめの早期対応に関する研修 校内研修1 実施手順 パターンB

| 展開 | 時間(分) | 進行内容 | 留意点 |
|-------|-------|--|--|
| 導入 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ただいまから、いじめの早期対応に関する研修をはじめます。 ・研修の全体の流れを説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、プロジェクターを準備しておく。 ・4～5人のグループをあらかじめ作っておく。 ・講義動画を事前に視聴しておく。 ・資料を配付しておく。 |
| 意見交換1 | 2 | ・スライド1～3を進行する。 | |
| | 2 | ・スライド4を進行する。 | ・事例を読むスピードはゆっくりと。 |
| | 4 | ・スライド5～6前半までを進行する。 (個人ワーク) | |
| | 12 | ・スライド6後半を進行する。 (グループ意見交換) | |
| | 6 | ・スライド7を進行する。 (全体発表) | |
| | 1 | ・スライド8～9を進行する。 (場面1のまとめ) | |
| 意見交換2 | 4 | ・スライド10～11前半までを進行する。 (個人ワーク) | |
| | 12 | ・スライド11後半を進行する。 (グループ意見交換) | |
| | 6 | ・スライド12を進行する。 (全体発表) | |
| | 3 | ・スライド13～15を進行する。 (場面2のまとめ) | |
| まとめ | 4 | ・スライド16～17を進行する。 | ・事前に校長先生(教頭先生)に指導助言を依頼しておく。 |
| | 2 | ・次回の予告をする。(日時、場所等) | |

60分

| 展開 | 時間(分) | 進行内容 | 留意点 |
|-----------|-------|--|---|
| 導入 | 2 | ・ただいまから、いじめの早期対応に関する研修を はじめます。 ・研修の全体の流れを説明する。 | ・4～5人のグループをあらかじめ 作っておく。 ・資料を配付しておく。 |
| | 10 | ・動画を再生する。 | ・パソコン、プロジェクターを準備 しておく。 |
| 意見交 換1 | 2 | ・スライド1～3を進行する。 | |
| | 2 | ・スライド4を進行する。 | ・事例を読むスピードはゆっくり と。 |
| | 4 | ・スライド5～6前半までを進行する。 (個人ワーク) | |
| | 13 | ・スライド6後半を進行する。 (グループ意見交換) | |
| | 15 | ・スライド7を進行する。 (全体発表) | ・複数のグループが役割演技を行 う。 |
| | 1 | ・スライド8～9を進行する。 (場面1のまとめ) | |
| 意見交 換2 | 4 | ・スライド10～11前半までを進行する。 (個人ワーク) | |
| | 13 | ・スライド11後半を進行する。 (グループ意見交換) | |
| | 15 | ・スライド12を進行する。 (全体発表) | ・複数のグループが役割演技を行 う。 |
| | 3 | ・スライド13～15を進行する。 (場面2のまとめ) | |
| まとめ | 4 | ・スライド16～17を進行する。 | ・事前に校長先生(教頭先生)に指 導助言を依頼しておく。 |
| | 2 | ・次回の予告をする。(日時、場所等) | |

90分

| 展開 | 時間 (分) | 進行内容 | 留意点 |
|-------|--------|--|--|
| 導入 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ただいまから、いじめの早期対応に関する研修をはじめます。 ・研修の全体の流れを説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、プロジェクターを準備しておく。 ・4～5人のグループをあらかじめ作っておく。 ・講義動画を事前に視聴しておく。 ・資料を配付しておく。 |
| 意見交換1 | 2 | ・スライド1～3を進行する。 | |
| | 2 | ・スライド4を進行する。 | ・事例を読むスピードはゆっくりと。 |
| | 4 | ・スライド5～6前半までを進行する。 (個人ワーク) | |
| | 18 | ・スライド6後半を進行する。 (グループ意見交換) | |
| | 15 | ・スライド7を進行する。 (全体発表) | ・複数のグループが役割演技を行う。 |
| | 1 | ・スライド8～9を進行する。 (場面1のまとめ) | |
| 意見交換2 | 4 | ・スライド10～11前半までを進行する。 (個人ワーク) | |
| | 18 | ・スライド11後半を進行する。 (グループ意見交換) | |
| | 15 | ・スライド12を進行する。 (全体発表) | ・複数のグループが役割演技を行う。 |
| | 3 | ・スライド13～15を進行する。 (場面2のまとめ) | |
| まとめ | 4 | ・スライド16～17を進行する。 | ・事前に校長先生(教頭先生)に指導助言を依頼しておく。 |
| | 2 | ・次回の予告をする。(日時、場所等) | |

90分

A先生のいじめ早期対応事例について考える

A先生の対応について、課題だと考えられる箇所に下線を引きましょう。

場面Ⅰ：B子の母親からの連絡



ある日の朝、A先生が職員室で授業の準備をしていたところ、B子の母親から電話があった。

B子の母親の話では、昨日、B子が家に帰ってから一人で部屋に閉じこもっているので、理由を何度も聞いたところ、「何でもないから。自分で解決できるから大丈夫。」と答えたそうである。B子の母親に「学校で何かあったのですか？」と尋ねられたが、A先生には思い当たることがなかったので、「特にトラブルがあったようには思いません。いつも元気なB子なので心配はいらなと思います、念のために話を聞いてみます。」と答えて電話を切った。



場面Ⅱ：B子との教育相談



その日の昼休み、A先生はB子を相談室に呼んで話を聞こうとしたが、B子は涙ぐみ、なかなか話そうとはしなかった。A先生は、「話をしてくれないと、分からないよ。」と言った。B子はしばらく黙っていたが、重い口を開き、同じ委員会活動のC子（クラスは別）とうまく話していないことを話した。C子に話し掛けても無視をされたり、友達と話をしていても、その友達をC子が連れて行ったりするようである。A先生は、B子に「この後、C子を呼んで、私が話を聞いてみるよ。」と言って、B子との教育相談を終えた。



『やってみんかね教育相談 H29』を改編

A先生のいじめ早期対応事例について考える

A先生の対応について、課題だと考えられる箇所に下線を引きましょう。

場面Ⅰ：B子の母親からの連絡



ある日の朝、A先生が職員室で授業の準備をしていたところ、B子の母親から電話があった。

B子の母親の話では、昨日、B子が家に帰ってから一人で部屋に閉じこもっているので、理由を何度も聞いたところ、「何でもないから。自分で解決できるから大丈夫。」と答えたそうである。B子の母親に「学校で何かあったのですか？」と尋ねられたが、A先生には思い当たることがなかったので、「特にトラブルがあったようには思いません。いつも元気なB子なので心配はいらなと思います、念のために話を聞いてみます。」と答えて電話を切った。



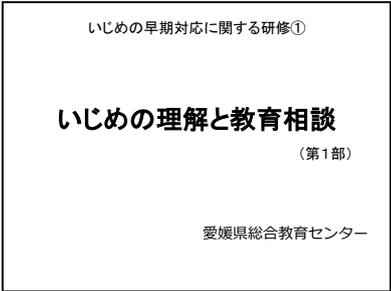
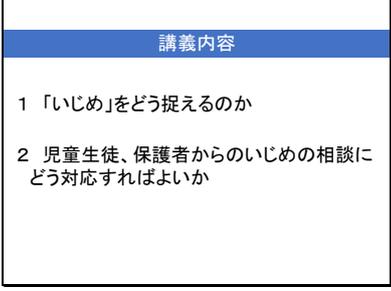
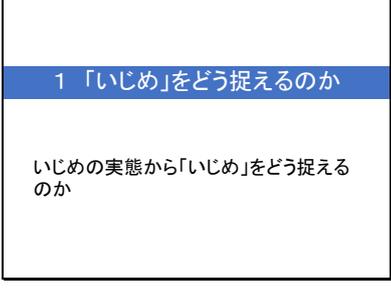
場面Ⅱ：B子との教育相談

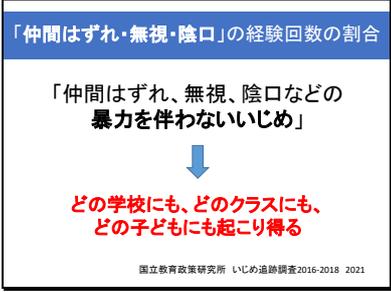
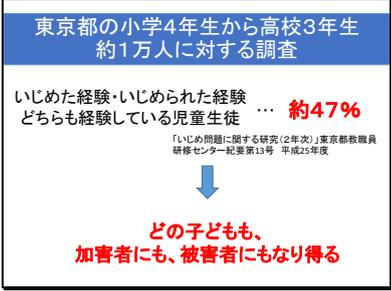


その日の放課後、A先生はB子を相談室に呼んで話を聞こうとしたが、B子は涙ぐみ、なかなか話そうとはしなかった。A先生は、「話をしてくれないと、分からないよ。」と言った。B子はしばらく黙っていたが、重い口を開き、同じ部活動のC子（クラスは別）とうまく話していないことを話した。C子に話し掛けても無視をされたり、友達と話をしていても、その友達をC子が連れて行ったりするようである。A先生は、B子に「この後、C子を呼んで、私が話を聞いてみるよ。」と言って、B子との教育相談を終えた。

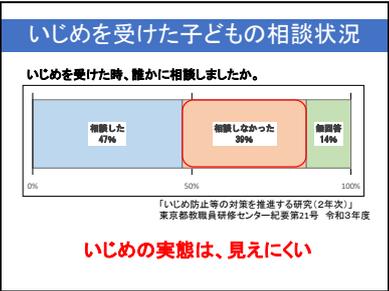
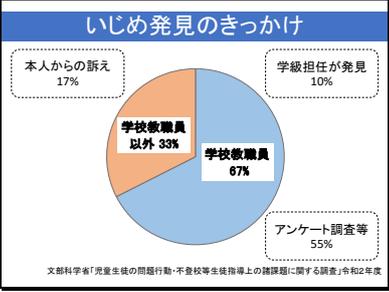


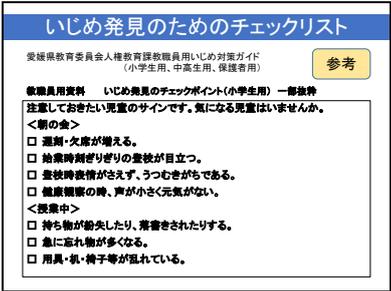
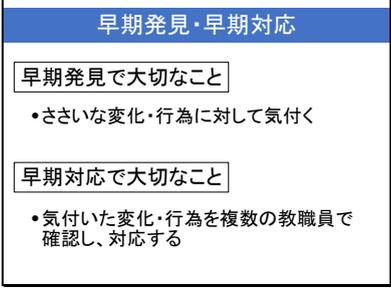
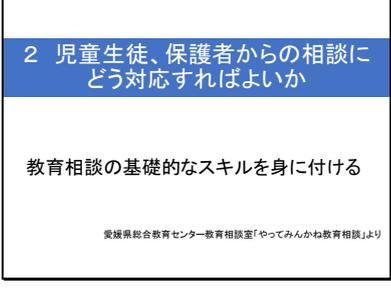
『やってみんかね教育相談 H29』を改編

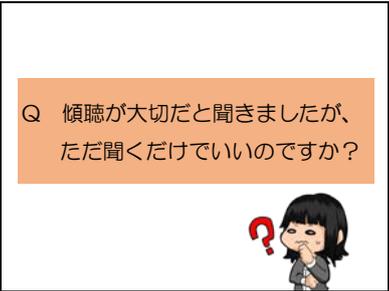
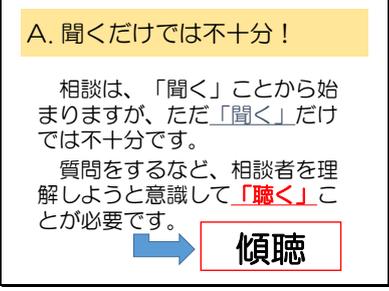
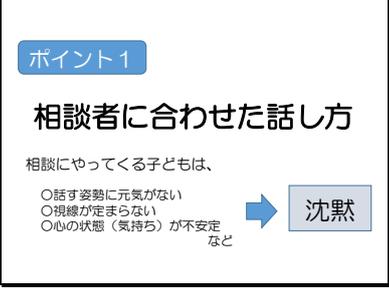
| | | |
|----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 1</p> |  | <p>いじめの理解と教育相談の講義を始めます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 2</p> |  | <p>今回の研修の目的は、二つあります。一つ目は、いじめの捉え方について、共通理解を図ること、二つ目は、児童生徒、保護者と教育相談を行う際に活用できる教育相談の基礎的なスキルを学ぶことです。講義動画の内容は、スライドに示しているとおりです。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 3</p> |  | <p>「1 いじめをどう捉えるのか」について、いじめに関する調査データに基づいた「いじめの実態」から考えていきましょう。</p> |

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 4</p> |  | <p>まずは、国立教育政策研究所が実施したいじめ追跡調査を見ていきます。この調査は、2016年度に小学校4年生及び中学1年生であった児童生徒を対象に、仲間はずれ、無視、陰口など、暴力を伴わないいじめの経験回数を3年間追跡調査したものです。結果を見ると、暴力を伴わないいじめを、した、された経験がある児童生徒は、それぞれおよそ9割でした。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 5</p> |  | <p>この調査結果から、暴力を伴わないいじめは、どの学校にも、どのクラスにも、どの子どもにも起こり得ると言えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 6</p> |  | <p>東京都教職員研修センターの「いじめ問題に関する研究」によると、小学校4年生から高校生3年生までの約47%の子どもが、「いじめた経験」「いじめられた経験」どちらも経験していることが分かっています。この調査結果から、どの子どもも、加害者にも、被害者にもなり得ると言えます。</p> |

| | | |
|----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 7</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; margin: 0;">1 「いじめ」をどう捉えるのか</p> <p style="margin: 5px 0;">「仲間はずれ、無視、陰口などの暴力を伴わないいじめ」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○どの学校にも、どのクラスにも、どの子どもにも起こり得る</p> <p>○どの子どもも、加害者にも、被害者にもなり得る</p> </div> </div> | <p>いじめは、ある特定の気になる児童生徒が関わっているものだという思い込みにより、いじめの早期対応が遅れることがあってはなりません。私たち一人一人が共通認識を持って、いじめの初期段階のささいなトラブルを見過ごすことがないよう意識を持つことが大切です。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 8</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; margin: 0;">いじめとは何か</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等、当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であつて、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの。</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">「いじめ防止対策推進法」平成25年</p> <p style="text-align: center; color: blue; font-size: 2em;">↓</p> <p style="text-align: center;">児童生徒の感じる心身の苦痛に着目することが必要</p> </div> </div> | <p>次に、法で定められているいじめの定義について、確認しておきたいと思います。いじめの定義は、スライドで示したようにいじめ防止対策推進法第2条に定義づけられています。この定義のポイントとしては、子どもが感じる心身の苦痛といった被害性に着目している点にあります。ささいに思えることでも、子どもによって感じ方は様々です。大きな心の傷になることも考えられます。また、教師によって捉え方にも違いがあります。いじめに苦しむ子どもを漏らさず救い、組織的対応につなげるための定義と言うことができます。</p> |

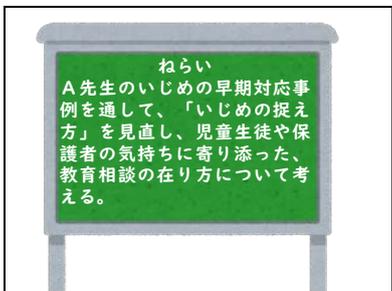
| | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------|---------|-----|-----|---------|-------|---|-----|---|
| <p>ス ラ イ ド 9</p> |  <p>いじめを受けた子どもの相談状況</p> <p>いじめを受けた時、誰かに相談しましたか。</p> <table border="1"> <tr> <td>相談した</td> <td>相談しなかった</td> <td>無回答</td> </tr> <tr> <td>47%</td> <td>30%</td> <td>14%</td> </tr> </table> <p>「いじめ防止等の対策を推進する研究(2年次)」 東京都教職員研修センター紀要第21号 令和3年度</p> <p>いじめの実態は、見えにくい</p> | 相談した | 相談しなかった | 無回答 | 47% | 30% | 14% | <p>また、東京都教職員研修センター「いじめ防止等の対策を推進する研究」によると、いじめを受けた子どもの約4割がいじめを受けた時、誰にも相談していないことが分かっています。心身の苦痛を感じていても、そのことを相談できないでいる子どももいます。私たちは、いじめの実態は見えにくいという意識を持って早期発見に努める必要があります。</p> | | |
| 相談した | 相談しなかった | 無回答 | | | | | | | | |
| 47% | 30% | 14% | | | | | | | | |
| <p>ス ラ イ ド 10</p> |  <p>いじめ発見のきっかけ</p> <table border="1"> <tr> <td>本人からの訴え</td> <td>学級担任が発見</td> </tr> <tr> <td>17%</td> <td>10%</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>学校教職員以外</td> <td>学校教職員</td> </tr> <tr> <td>33%</td> <td>67%</td> </tr> </table> <p>アンケート調査等 55%</p> <p>文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の課題に関する調査」令和2年度</p> | 本人からの訴え | 学級担任が発見 | 17% | 10% | 学校教職員以外 | 学校教職員 | 33% | 67% | <p>このスライドは、いじめ発見のきっかけについて、文部科学省の調査結果をグラフにしたものです。発見のきっかけで一番の多いのは、アンケート調査となっており、各学校が定期的実施しているアンケートが、いじめを早期に発見する有効な手立てであることが分かります。また、学級担任が発見した割合は、10%となっており、日頃からの児童生徒の見守りや信頼関係の構築等に努め、児童生徒が示す小さな変化を見逃さないようアンテナを高く保つことも有効な発見のきっかけとなっています。</p> |
| 本人からの訴え | 学級担任が発見 | | | | | | | | | |
| 17% | 10% | | | | | | | | | |
| 学校教職員以外 | 学校教職員 | | | | | | | | | |
| 33% | 67% | | | | | | | | | |

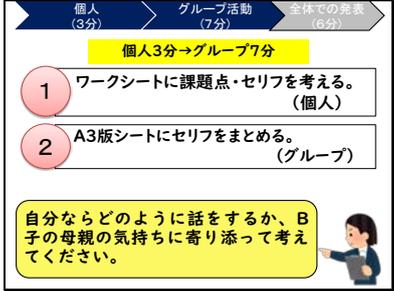
| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| <p>ス ラ イ ド 11</p> |  <p>いじめ発見のためのチェックリスト</p> <p>愛媛県教育委員会 人権教育課 教職員用 いじめ対策ガイド (小学生用、中学生用、保護者用) 参考</p> <p>教職員用資料 いじめ発見のチェックポイント(小学生用) 一部抜粋</p> <p>注意しておきたい児童のサインです。気になる児童はいませんか。</p> <p><朝の会></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 遅刻・欠席が増える。 <input type="checkbox"/> 始業時刻ギリギリの登校が目立つ。 <input type="checkbox"/> 登校時表情が曇る、うつむきがちである。 <input type="checkbox"/> 健康観察の時、声が小さく元気がない。 <p><授業中></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 持ち物が紛失したり、落書きされたりする。 <input type="checkbox"/> 急に忘れ物が多くなる。 <input type="checkbox"/> 用具・机・椅子等が壊れている。 | <p>いじめの早期発見について、愛媛県教育委員会、人権教育課のホームページに、チェックリストが掲載されています。こうしたチェックリストを活用することも早期発見に役立ちます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 12</p> |  <p>早期発見・早期対応</p> <p>早期発見で大切なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • ささいな変化・行為に対して気付く <p>早期対応で大切なこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • 気付いた変化・行為を複数の教職員で確認し、対応する | <p>早期対応で大切なことは、私たちが子どものささいな変化や行為に気付くことです。また、早期対応で大切なことは、その気づきを、すぐに複数の教員で確認し、対応することです。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 13</p> |  <p>2 児童生徒、保護者からの相談にどう対応すればよいか</p> <p>教育相談の基礎的なスキルを身に付ける</p> <p><small>愛媛県総合教育センター教育相談室「やってみんかね教育相談」より</small></p> | <p>それでは、実際に「児童生徒、保護者から相談があったときにどう対応すればよいか」について考えます。ここでは、愛媛県総合教育センター教育相談室が作成した研修資料「やってみんかね教育相談」をベースにして研修を進めます。</p> |

| | | |
|-----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 14</p> |  <p>Q 傾聴が大切だと聞きましたが、ただ聞くだけでいいのですか？</p> | <p>一つ目のクエスチョンです。傾聴が大切だと聞きましたが、ただ聞くだけでいいのですか？</p> |
| <p>ス ラ イ ド 15</p> |  <p>A. 聞くだけでは不十分！</p> <p>相談は、「聞く」ことから始まりますが、ただ「聞く」だけでは不十分です。 質問をするなど、相談者を理解しようとして「聴く」ことが必要です。</p> <p>→ 傾聴</p> | <p>アンサーです。ただ聞くだけでは不十分と言えます。相談は「聞く」ことから始まりますが、ただ漠然と「聞く」だけでは不十分です。相談者を理解しようとして意識を向けて「聴く」ことが大切です。これを「傾聴」といいます。また、分からないことについては「教えてほしい」と尋ねることも重要です。では、『聞き上手』になるためのポイントを確認しましょう。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 16</p> |  <p>ポイント1</p> <p>相談者に合わせた話し方</p> <p>相談にやってくる子どもは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話す姿勢に元気がない ○視線が定まらない ○心の状態（気持ち）が不安定など <p>→ 沈黙</p> | <p>最初のポイントは、相談者に合わせた話し方をすることです。特に、教育相談にやってくる子どもは、抱える問題も多様であり、話す姿勢や視線の動き、心の状態も様々です。特に、いじめについての相談では、うまく自分の思いを言葉にできず、沈黙の時間が長くなる場合があります。</p> |

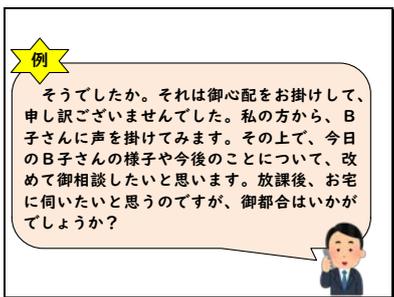
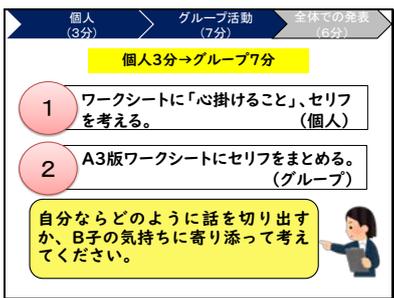
| | | |
|-----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 17</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>ポイント1</p> <p>相談者に合わせた話し方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○話すペース ○話の間合い 等 </div> </div> | <p>沈黙の時間が長くなると、ついつい私たち教員から言葉を掛けたり、教師が主導で相談を進めたりすることがあります。しかし、この沈黙の時間に相談者は自分の気持ちや話す内容を整理しています。ですから、沈黙の時間を大切に、相談者の話すペースに合わせる必要があります。こちらのペースで一方向的に、話をしたり、相談者の話に割り込んだりすると、相談者は不安を感じて、心を開いてくれないことがあります。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 18</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>ポイント2</p> <p>相談者の立場を想像</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○相談者が体験したこと ○相談者の思い </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">  共感的理解 </div> </div> | <p>次のポイントは、相談者の立場を想像しながら聴くことです。相談者が体験したことや話の裏側にある思いを想像しながら聴くことが大切です。これを『共感的理解』と言います。「あなたの言うことは無条件に受け止めます」という態度を示すことで相談者は、「この人なら私の話を聞いてくれる」「私を受け入れてくれる」と感じ話をしやすくなります。</p> |

| | | |
|-----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 19</p> | <div data-bbox="317 286 708 577" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>ポイント3</p> <p>受容の態度を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○うなずき（肯定の意思） ○頑張りを認める言葉掛け ○相談内容の繰り返し </div> | <p>最後のポイントは、受容の態度を相談者に伝えることです。相談者が話す内容にうなずき、「あなたを肯定しています」という意思を示したり、「今まで辛い思いに耐えてきたんですね」などの頑張りを認める言葉掛けをしたりすることは、相談者に「私の苦しかった気持ちを理解してくれている」と感じさせ、相談者の心を開きやすくします。また、相談者が話す内容を繰り返して相談者に返すことで、「私はあなたの話をしっかり聴いています」という態度を示すことができます。さらに、相談者に対して相談内容の確認と感情の整理を促すことにつながります。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 20</p> | <div data-bbox="317 1149 708 1440" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">いじめの早期対応に関する研修</p> <p style="text-align: center;">いじめの理解と教育相談 (第1部)</p> <p style="text-align: center;">愛媛県総合教育センター</p> </div> | <p>以上でいじめの理解と教育相談の講義を終わります。続いて、事例を用いた意見交換を行います。第2部は、各学校での進行となりますので、担当の先生の指示に従ってください。</p> |

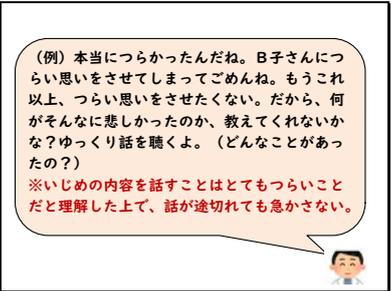
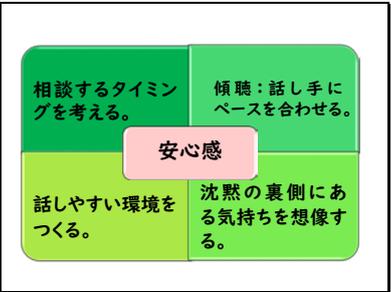
| | | |
|----------------------------------|---|---|
| <p>ス ラ イ ド 1</p> |  | <p>それでは、講義内容を踏まえながら、いじめの早期対応に関する事例について、意見交換を行います。画面上の準備物を確認してください。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 2</p> |  | <p>この時間のねらいです。A先生のいじめの早期対応事例を通して、私たち自身の「いじめの捉え方」を見直し、児童生徒や保護者の気持ちに寄り添った、教育相談の在り方について考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 3</p> |  | <p>意見交換の流れはこのようになります。これから、A先生の事例を紹介しますので、お手元の事例資料を見ながら、A先生の対応について、課題と思われる箇所に下線を引いてください。</p> |

| | | |
|----------------------------------|---|---|
| <p>ス ラ イ ド 4</p> |  <p>事例紹介 ～A先生のいじめへの対応～</p> | <p>それでは始めましょう。 (配付している事例資料をゆっくりと読む)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 5</p> |  <p>場面 I ～保護者からの相談～</p> | <p>では、ここからは、二つの場面に分けて考え ます。始めに、事例資料の場面 I です。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 6</p> |  <p>個人 (3分) → グループ活動 (7分) → 全体での発表 (6分)</p> <p>個人3分→グループ7分</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートに課題点・セリフを考える。(個人) 2 A3版シートにセリフをまとめる。(グループ) <p>自分ならどのように話をするか、B子の母親の気持ちに寄り添って考えてください。</p> | <p>まず、個人で、A先生の課題点とせりふを3分間でワークシートに書きます。では、始めてください。</p> <p>(3分後)</p> <p>やめてください。今からはグループで、個人ワークの内容を踏まえながらせりふを考えます。時間は7分です。この時間に、司会、記録、発表者を確認してください。記録者は、A3判のワークシートにグループの考えをまとめてください。では、始めてください。</p> |

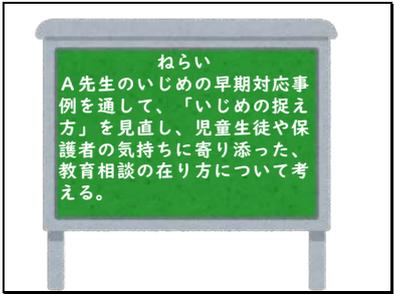
| | | |
|----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 7</p> | | <p>時間です。では、全体での発表に移ります。発表は、発表者に前に出いただき、役割演技の形で実施します。手順として、まず、母親役の方は、心配そうに最初のせりふを伝えます。次に、A先生役の方は、各グループで考えたA先生のせりふを、表情や話すスピードに気を付けながら、発表してください。役割演技の後、母親役の方は、A先生のせりふを聴いてどう思ったかの感想を、A先生役の方には、せりふで工夫したポイントを発表してください。</p> <p>母親役、A先生役はそれぞれ異なるグループの発表者が担当してください。では、発表者、母親役を募集します。挙手をお願いします。</p> <p>(2グループ程度が発表する) (最初のグループのやり取りが始まって5分経過したら、終了する) (役割演技後は、拍手を促す)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 8</p> | | <p>まとめです。A先生の課題としては、例えば、(○二つを読む) などが考えられます。</p> |

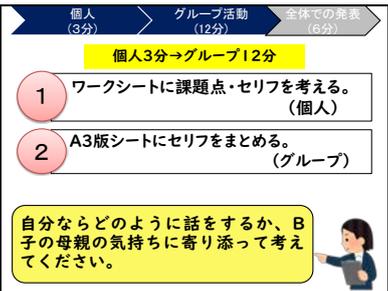
| | | |
|-----------------------------------|---|---|
| <p>ス ラ イ ド 9</p> |  | <p>スライドを見てください。今回のせりふの回答例を紹介します。</p> <p>(時間があればスライドを読む)</p> <p>電話を受けた段階から、保護者は思い悩んだ末に相談してくるということを理解し、誠実に対応する必要があります。保護者の思いや願いを真摯に受け止め、安心感を持つことができるように心掛けましょう。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 10</p> |  | <p>次に、場面Ⅱについて考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 11</p> |  | <p>まず、個人で、A先生が「心掛けること」とB子へのせりふをワークシートに3分間で考えます。では始めてください。</p> <p>(3分後)</p> <p>やめてください。今からはグループで課題点を踏まえながらせりふを考えます。時間は7分です。司会、記録、発表者を確認してください。記録者は、A3判のワークシートにグループの考えをまとめてください。では、始めてください。</p> |

| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| <p>ス ラ イ ド 12</p> | | <p>時間です。では、全体での発表をします。今回の発表も、発表者に前に出してもらい、役割演技の形で実施します。手順としては、まず、B子役の方は、せりふはありませんが、うつむき加減でなかなか言葉が出ない様子で座って、沈黙の状態を保ってください。A先生役の方は、各グループで考えたせりふを、表情や話すスピードにも気を付けながら、B子役の方に話を切り出してください。</p> <p>役割演技の後には、B子役の方は、A先生のせりふを聴いてどう思ったかの感想を、A先生役の方は、せりふで工夫したポイントを発表してください。B子役、A先生役はそれぞれ異なるグループの発表者が担当してください。では、発表者、B子役を募集します。挙手をお願いします。</p> <p>(2グループ程度が発表する) (最初のグループのやり取りが始まって5分経過したら、終了する) (役割演技後は、拍手を促す。)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 13</p> | | <p>では、まとめです。A先生が心掛けたらよいこととしては、B子のつらい気持ちに寄り添うこと、B子が沈黙しているのは、どんな思いがあるからなのかを想像すること、また、話し手のペースに合わせることなどが考えられます。</p> |

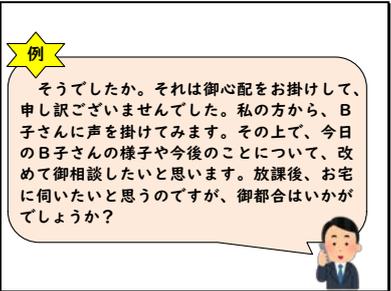
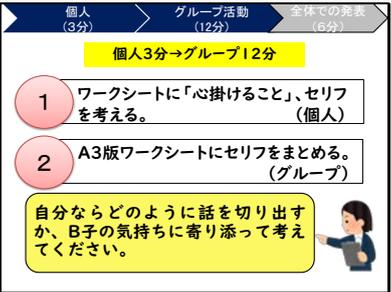
| | | |
|-----------------------------------|---|---|
| <p>ス ラ イ ド 14</p> |  | <p>この場面での回答例を紹介します。 (スライドを読む)</p> <p>子どもにとって、いじめの内容を話すことはとてもつらいことだと考えられます。話が途切れてもせかさず、ゆっくりと話を聴いていくことが大切なことだと思います。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 15</p> |  | <p>また、B子との教育相談では、相談するタイミングや、B子が話しやすい環境をつくりこと、また、話し手のペースに合わせること、「沈黙」がある場合は、意味のあることとして捉え、沈黙の裏側にある気持ちを想像することなどが、安心感を与えるポイントだと考えられます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 16</p> |  | <p>以上で意見交換を終わります。</p> |

| | | |
|-----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 17</p> | <div data-bbox="300 280 694 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">事例紹介 → 場面Ⅰの意見交換 → 場面Ⅱの意見交換 → まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 「いじめの捉え方」を再認識することができましたか。 <input checked="" type="checkbox"/> いじめられた児童生徒や保護者の気持ちに寄り添った教育相談の在り方を考えることができましたか。  </div> | <p>全体のまとめの時間です。今日は、動画での講義と意見交換の二つを通して、「いじめの捉え方」を改めて再認識するとともに、保護者や子どもの気持ちに寄り添った教育相談の在り方について考えました。次回の意見交換では、A先生がB子の母親から相談を受けた後、学校の組織として、どのように対応していくかについて、実際にシミュレーションしながら考えます。</p> <p>なお、配付しているハンドブック資料で、今日の研修内容を振り返ることができます。御活用ください。</p> <p>それでは、ここで、校長先生（教頭先生）に御指導いただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> |
|-----------------------------------|--|--|

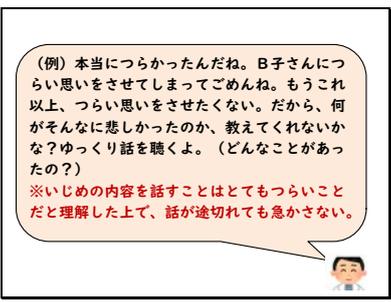
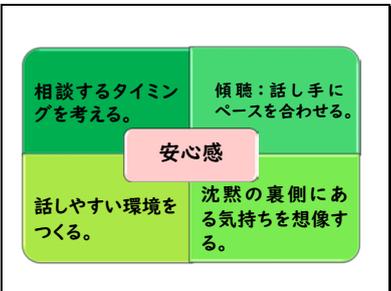
| | | |
|----------------------------------|---|---|
| <p>ス ラ イ ド 1</p> |  | <p>それでは、講義内容を踏まえながら、いじめの早期対応に関する事例について、意見交換を行います。画面上の準備物を確認してください。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 2</p> |  | <p>この時間のねらいです。A先生のいじめの早期対応事例を通して、私たち自身の「いじめの捉え方」を見直し、児童生徒や保護者の気持ちに寄り添った、教育相談の在り方について考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 3</p> |  | <p>意見交換の流れはこのようになります。これから、A先生の事例を紹介しますので、お手元の事例資料を見ながら、A先生の対応について、課題と思われる箇所に下線を引いてください。</p> |

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 4</p> |  <p>事例紹介 ～A先生のいじめへの対応～</p> | <p>それでは始めましょう。 (配付している事例資料をゆっくりと読む)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 5</p> |  <p>場面 I ～保護者からの相談～</p> | <p>では、ここからは、二つの場面に分けて考え ます。始めに、事例資料の場面 I です。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 6</p> |  <p>個人 (3分) → グループ活動 (12分) → 全体での発表 (6分)</p> <p>個人3分→グループ12分</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートに課題点・セリフを考える。(個人) 2 A3版シートにセリフをまとめる。(グループ) <p>自分ならどのように話をするか、B子の母親の気持ちに寄り添って考えてください。</p> | <p>まず、個人で、A先生の課題点とセリフを3分間でワークシートに書きます。では、始めてください。 (3分後) やめてください。今からはグループで、個人ワークの内容を踏まえながらセリフを考えます。時間は12分です。この時間に、司会、記録、発表者を確認してください。記録者は、A3判のワークシートにグループの考えをまとめてください。では、始めてください。</p> |

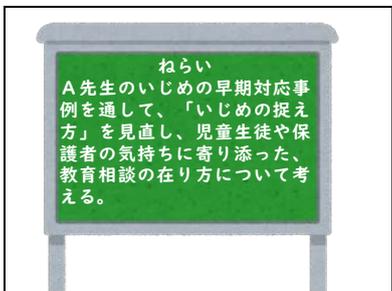
| | | |
|----------------------------------|--|---|
| <p>ス ラ イ ド 7</p> | | <p>時間です。では、全体での発表に移ります。発表は、発表者に前に出ていただき、役割演技の形で実施します。手順として、まず、母親役の方は、心配そうに最初のせりふを伝えます。次に、A先生役の方は、各グループで考えたA先生のせりふを、表情や話すスピードに気を付けながら、発表してください。役割演技の後、母親役の方は、A先生のせりふを聴いてどう思ったかの感想を、A先生役の方には、せりふで工夫したポイントを発表してください。</p> <p>母親役、A先生役はそれぞれ異なるグループの発表者が担当してください。では、発表者、母親役を募集します。挙手をお願いします。</p> <p>(2グループ程度が発表する) (最初のグループのやり取りが始まって5分経過したら、終了する) (役割演技後は、拍手を促す)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 8</p> | | <p>まとめです。A先生の課題としては、例えば、(○二つを読む)などが考えられます。</p> |

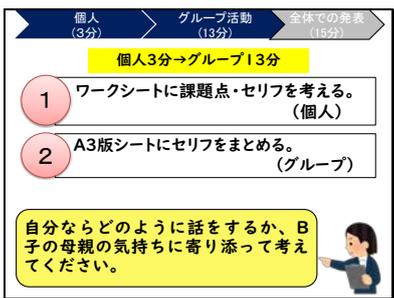
| | | |
|-----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 9</p> |  | <p>スライドをみてください。今回のせりふの回答例を紹介します。</p> <p>(時間があればスライドを読む)</p> <p>電話を受けた段階から、私たちは、保護者は思い悩んだ末に相談してくるということを理解し、誠実に対応する必要があります。保護者の思いや願いを真摯に受け止め、安心感を持つことができるように心掛けましょう。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 10</p> |  | <p>次に、場面IIについて考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 11</p> |  | <p>まず、個人で、A先生が「心掛けること」とB子へのせりふをワークシートに3分間で考えます。では始めてください。</p> <p>(3分後)</p> <p>やめてください。今からはグループで課題点を踏まえながらせりふを考えます。時間は12分です。司会、記録、発表者を確認してください。記録者は、A3判のワークシートにグループの考えをまとめてください。では、始めてください。</p> |

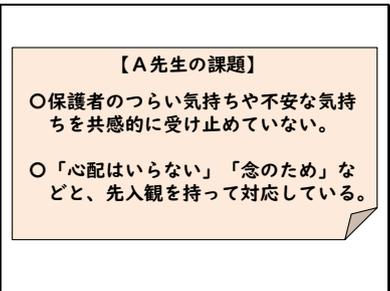
| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| <p>ス ラ イ ド 12</p> | | <p>時間です。では、全体での発表をします。今回の発表も、発表者に前に出してもらい、役割演技の形で実施します。手順としては、まず、B子役の方は、せりふはありませんが、うつむき加減でなかなか言葉が出ない様子で座って、沈黙の状態を保ってください。A先生役の方は、各グループで考えたせりふを、表情や話すスピードにも気を付けながら、B子役の方に話を切り出してください。</p> <p>役割演技の後には、B子役の方は、A先生のせりふを聴いてどう思ったかの感想を、A先生役の方は、せりふで工夫したポイントを発表してください。B子役、A先生役はそれぞれ異なるグループの発表者が担当してください。では、発表者、B子役を募集します。挙手をお願いします。</p> <p>(2グループ程度が発表する)。 (最初のグループのやり取りが始まって5分経過したら、終了する) (役割演技後は、拍手を促す)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 13</p> | | <p>では、まとめです。A先生が心掛けたらよいこととしては、B子のつらい気持ちに寄り添うこと、B子が沈黙しているのは、どんな思いがあるからなのかを想像すること、また、話し手のペースに合わせることなどが考えられます。</p> |

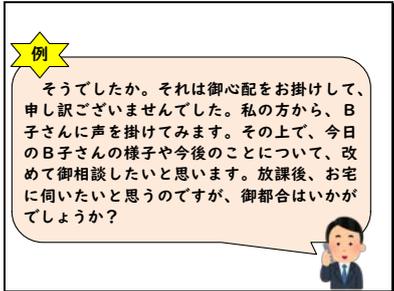
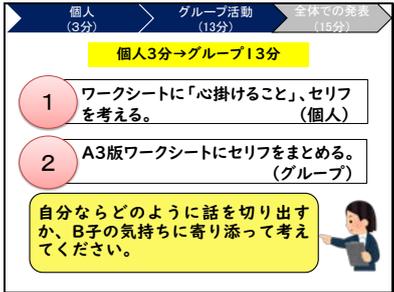
| | | |
|-----------------------------------|---|---|
| <p>ス ラ イ ド 14</p> |  | <p>この場面での回答例を紹介します。 (スライドを読む)</p> <p>子どもにとって、いじめの内容を話すことはとてもつらいことだと考えられます。話が途切れてもせかさず、ゆっくりと話を聴いていくことが大切なことだと思います。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 15</p> |  | <p>また、B子との教育相談では、相談するタイミングや、B子が話しやすい環境をつくりこと、また、話し手のペースに合わせること、「沈黙」がある場合は、意味のあることとして捉え、沈黙の裏側にある気持ちを想像することなどが、安心感を与えるポイントだと考えられます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 16</p> |  | <p>以上で意見交換を終わります。</p> |

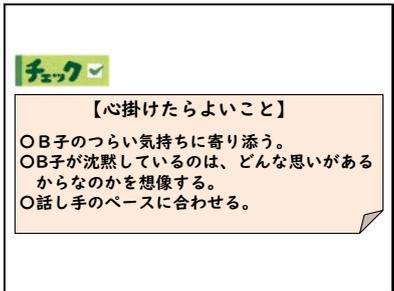
| | | |
|-----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 17</p> | <div data-bbox="300 280 694 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">事例紹介 → 場面Ⅰの意見交換 → 場面Ⅱの意見交換 → まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 「いじめの捉え方」を再認識することができましたか。 <input checked="" type="checkbox"/> いじめられた児童生徒や保護者の気持ちに寄り添った教育相談の在り方を考えることができましたか。  </div> | <p>全体のまとめの時間です。今日は、動画での講義と意見交換の二つを通して、「いじめの捉え方」を改めて再認識するとともに、保護者や子どもの気持ちに寄り添った教育相談の在り方について考えました。次回の意見交換では、A先生がB子の母親から相談を受けた後、学校の組織として、どのように対応していくかについて、実際にシミュレーションしながら考えます。</p> <p>なお、配付しているハンドブック資料で、今日の研修内容を振り返ることができます。御活用ください。</p> <p>それでは、ここで、校長先生（教頭先生）に御指導いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> |
|-----------------------------------|--|--|

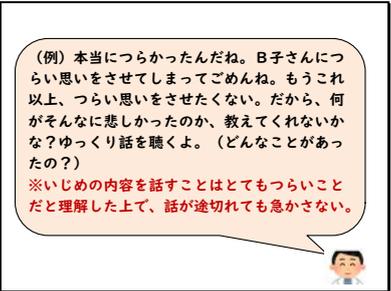
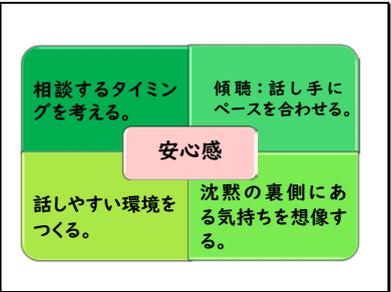
| | | |
|----------------------------------|---|---|
| <p>ス ラ イ ド 1</p> |  | <p>それでは、講義内容を踏まえながら、いじめの早期対応に関する事例について、意見交換を行います。画面上の準備物を確認してください。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 2</p> |  | <p>この時間のねらいです。A先生のいじめの早期対応事例を通して、私たち自身の「いじめの捉え方」を見直し、児童生徒や保護者の気持ちに寄り添った、教育相談の在り方について考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 3</p> |  | <p>意見交換の流れはこのようになります。これから、A先生の事例を紹介しますので、お手元の事例資料を見ながら、A先生の対応について、課題と思われる箇所に下線を引いてください。</p> |

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 4</p> |  <p>事例紹介 ～A先生のいじめへの対応～</p> | <p>それでは始めましょう。 (配付している事例資料をゆっくりと読む)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 5</p> |  <p>場面 I ～保護者からの相談～</p> | <p>では、ここからは、二つの場面に分けて考えます。始めに、事例資料の場面 I です。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 6</p> |  <p>個人 (3分) → グループ活動 (13分) → 全体での発表 (15分)</p> <p>個人3分→グループ13分</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートに課題点・セリフを考える。(個人) 2 A3版シートにセリフをまとめる。(グループ) <p>自分などのように話をするか、B子の母親の気持ちに寄り添って考えてください。</p> | <p>まず、個人で、A先生の課題点とせりふを3分間でワークシートに書きます。では、始めてください。</p> <p>(3分後)</p> <p>やめてください。今からはグループで、個人ワークの内容を踏まえながらせりふを考えます。時間は13分です。この時間に、司会、記録、発表者を確認してください。記録者は、A3判のワークシートにグループの考えをまとめてください。では、始めてください。</p> |

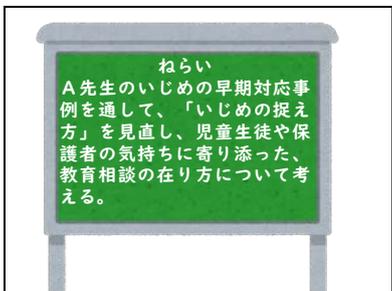
| | | |
|----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 7</p> |  | <p>時間です。では、全体での発表に移ります。発表は、発表者に前に出ていただき、役割演技の形で実施します。手順として、まず、母親役の方は、心配そうに最初のせりふを伝えます。次に、A先生役の方は、各グループで考えたA先生のせりふを、表情や話すスピードに気を付けながら、発表してください。役割演技の後、母親役の方は、A先生のせりふを聴いてどう思ったかの感想を、A先生役の方には、せりふで工夫したポイントを発表してください。</p> <p>母親役、A先生役はそれぞれ異なるグループの発表者が担当してください。では、発表者、母親役を募集します。挙手をお願いします。</p> <p>(4～5グループ程度が発表する) (最初のグループのやり取りが始まって14分経過したら、終了する) (役割演技後は、拍手を促す)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 8</p> |  | <p>まとめです。A先生の課題としては、例えば、(○二つを読む)などが考えられます。</p> |

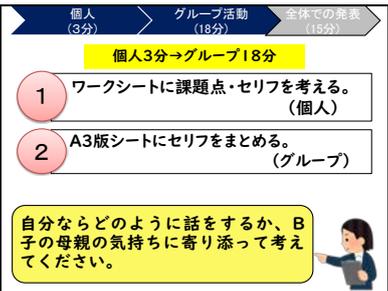
| | | |
|-----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 9</p> |  | <p>スライドをみてください。今回のせりふの回答例を紹介します。</p> <p>(時間があればスライドを読む)</p> <p>電話を受けた段階から、私たちは、保護者は思い悩んだ末に相談してくるということを理解し、誠実に対応する必要があります。保護者の思いや願いを真摯に受け止め、安心感を持つことがきるように心掛けましょう。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 10</p> |  | <p>次に、場面Ⅱについて考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 11</p> |  | <p>まず、個人で、A先生が「心掛けること」とB子へのせりふをワークシートに3分間で考えます。では始めてください。</p> <p>(3分後)</p> <p>やめてください。今からはグループで課題点を踏まえながらセリフを考えます。時間は13分です。司会、記録、発表者を確認してください。記録者は、A3判のワークシートにグループの考えをまとめてください。では、始めてください。</p> |

| | | |
|-----------------------------------|---|---|
| <p>ス ラ イ ド 12</p> |  | <p>時間です。では、全体での発表をします。今回の発表も、発表者に前に出してもらい、役割演技の形で実施します。手順としては、まず、B子役の方は、せりふはありませんが、うつむき加減でなかなか言葉が出ない様子で座って、沈黙の状態を保ってください。A先生役の方は、各グループで考えたせりふを、表情や話すスピードにも気を付けながら、B子役の方に話を切り出してください。</p> <p>役割演技の後には、B子役の方は、A先生のせりふを聴いてどう思ったかの感想を、A先生役の方は、せりふで工夫したポイントを発表してください。B子役、A先生役はそれぞれ異なるグループの発表者が担当してください。では、発表者、B子役を募集します。挙手をお願いします。</p> <p>(4～5グループ程度が発表する) (最初のグループのやり取りが始まって14分経過したら、終了する) (役割演技後は、拍手を促す)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 13</p> |  | <p>では、まとめです。A先生が心掛けたらよいこととしては、B子のつらい気持ちに寄り添うこと、B子が沈黙しているのは、どんな思いがあるからなのかを想像すること、また、話し手のペースに合わせることなどが考えられます。</p> |

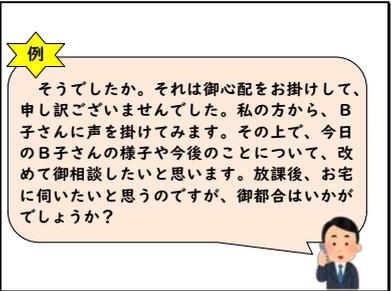
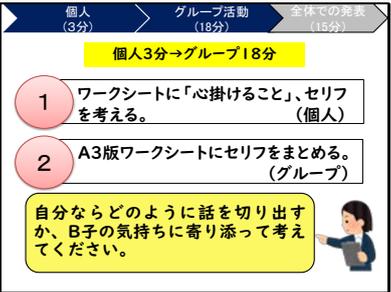
| | | |
|-----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 14</p> |  | <p>この場面での回答例を紹介します。 (スライドを読む) 子どもにとって、いじめの内容を話すことはとてもつらいことだと考えられます。話が途切れても急かさず、ゆっくりと話を聞いていくことが大切なことだと思います。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 15</p> |  | <p>また、B子との教育相談では、相談するタイミングや、B子が話しやすい環境をつくりこと、また、話し手のペースに合わせることで、「沈黙」がある場合は、意味のあることとして捉え、沈黙の裏側にある気持ちを想像することなどが、安心感を与えるポイントだと考えられます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 16</p> |  | <p>以上で意見交換を終わります。</p> |

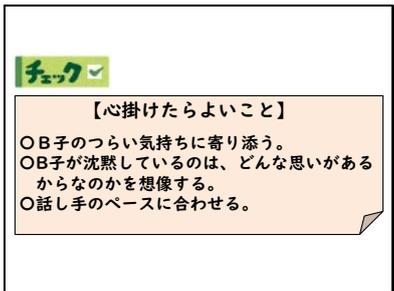
| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| <p>ス ラ イ ド 17</p> | <div data-bbox="300 280 694 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">事例紹介 → 場面Ⅰの意見交換 → 場面Ⅱの意見交換 → まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 「いじめの捉え方」を再認識することができましたか。 <input checked="" type="checkbox"/> いじめられた児童生徒や保護者の気持ちに寄り添った教育相談の在り方を考えることができましたか。  </div> | <p>全体のまとめの時間です。今日は、動画での講義と意見交換の二つを通して、「いじめの捉え方」を改めて再認識するとともに、保護者や子どもの気持ちに寄り添った教育相談の在り方について考えました。次回の意見交換では、A先生がB子の母親から相談を受けた後、学校の組織として、どのように対応していくかについて、実際にシミュレーションをしながら考えます。</p> <p>なお、配付しているハンドブック資料で、今日の研修内容を振り返ることができます。御活用ください。</p> <p>それでは、ここで、校長先生（教頭先生）に御指導いただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> |
|-----------------------------------|--|---|

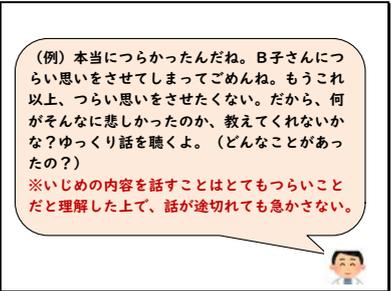
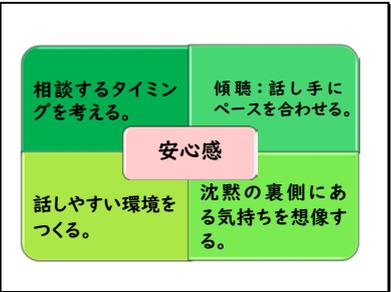
| | | |
|----------------------------------|---|---|
| <p>ス ラ イ ド 1</p> |  | <p>それでは、講義内容を踏まえながら、いじめの早期対応に関する事例について、意見交換を行います。画面上の準備物を確認してください。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 2</p> |  | <p>この時間のねらいです。A先生のいじめの早期対応事例を通して、私たち自身の「いじめの捉え方」を見直し、児童生徒や保護者の気持ちに寄り添った、教育相談の在り方について考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 3</p> |  | <p>意見交換の流れはこのようになります。これから、A先生の事例を紹介しますので、お手元の事例資料を見ながら、A先生の対応について、課題と思われる箇所に下線を引いてください。</p> |

| | | |
|----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 4</p> |  <p>事例紹介 ～A先生のいじめへの対応～</p> | <p>それでは始めましょう。 (配付している事例資料をゆっくりと読む)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 5</p> |  <p>場面 I ～保護者からの相談～</p> | <p>では、ここからは、二つの場面に分けて考えます。始めに、事例資料の場面 I です。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 6</p> |  <p>個人 (3分) → グループ活動 (18分) → 全体での発表 (15分)</p> <p>個人3分→グループ18分</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートに課題点・セリフを考える。(個人) 2 A3版シートにセリフをまとめる。(グループ) <p>自分ならどのように話をするか、B子の母親の気持ちに寄り添って考えてください。</p> | <p>まず、個人で、A先生の課題点とせりふを3分間でワークシートに書きます。では、始めてください。</p> <p>(3分後)</p> <p>やめてください。今からはグループで、個人ワークの内容を踏まえながらせりふを考えます。時間は18分です。この時間に、司会、記録、発表者を確認してください。記録者は、A3判のワークシートにグループの考えをまとめてください。では、始めてください。</p> |

| | | |
|----------------------------------|--|---|
| <p>ス ラ イ ド 7</p> | | <p>時間です。では、全体での発表に移ります。発表は、発表者に前に出ていただき、役割演技の形で実施します。手順として、まず、母親役の方は、心配そうに最初のせりふを伝えます。次に、A先生役の方は、各グループで考えたA先生のせりふを、表情や話すスピードに気を付けながら、発表してください。役割演技の後、母親役の方は、A先生のせりふを聴いてどう思ったかの感想を、A先生役の方には、せりふで工夫したポイントを発表してください。</p> <p>母親役、A先生役はそれぞれ異なるグループの発表者が担当してください。では、発表者、母親役を募集します。挙手をお願いします。 (4～5グループ程度が発表する) (最初のグループのやり取りが始まって14分経過したら、終了する) (役割演技後は、拍手を促す)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 8</p> | | <p>まとめです。A先生の課題としては、例えば、(○二つを読む)などが考えられます。</p> |

| | | |
|-----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 9</p> |  | <p>スライドをご覧ください。今回のせりふの回答例を紹介します。</p> <p>(時間があればスライドを読む)</p> <p>電話を受けた段階から、私たちは、保護者は思い悩んだ末に相談してくるということを理解し、誠実に対応する必要があります。保護者の思いや願いを真摯に受け止め、安心感を持つことがきるように心掛けましょう。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 10</p> |  | <p>次に、場面Ⅱについて考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 11</p> |  | <p>まず、個人で、A先生が「心掛けること」とB子へのせりふをワークシートに3分間で考えます。では始めてください。</p> <p>(3分後)</p> <p>やめてください。今からはグループで課題点を踏まえながらセリフを考えます。時間は18分です。司会、記録、発表者を確認してください。記録者は、A3判のワークシートにグループの考えをまとめてください。では、始めてください。</p> |

| | | |
|-----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 12</p> |  | <p>時間です。では、全体での発表に移ります。発表は、発表者に前に出てください、役割演技の形で実施します。手順として、まず、母親役の方は、心配そうに最初のせりふを伝えます。次に、A先生役の方は、各グループで考えたA先生のせりふを、表情や話すスピードに気を付けながら、発表してください。役割演技の後、母親役の方は、A先生のせりふを聴いてどう思ったかの感想を、A先生役の方には、せりふで工夫したポイントを発表してください。</p> <p>母親役、A先生役はそれぞれ異なるグループの発表者が担当してください。では、発表者、母親役を募集します。挙手をお願いします。</p> <p>(4～5グループ程度が発表する) (最初のグループのやり取りが始まって14分経過したら、終了する) (役割演技後は、拍手を促す)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 13</p> |  | <p>では、まとめです。A先生が心掛けたらよいこととしては、B子のつらい気持ちに寄り添うこと、B子が沈黙しているのは、どんな思いがあるからなのかを想像すること、また、話し手のペースに合わせることなどが考えられます。</p> |

| | | |
|-----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 14</p> |  | <p>この場面での回答例を紹介します。 (スライドを読む)</p> <p>子どもにとって、いじめの内容を話すことはとてもつらいことだと考えられます。話が途切れてもせかさず、ゆっくりと話を聞いていくことが大切なことだと思います。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 15</p> |  | <p>また、B子との教育相談では、相談するタイミングや、B子が話しやすい環境をつくりこと、また、話し手のペースに合わせることで、「沈黙」がある場合は、意味のあることとして捉え、沈黙の裏側にある気持ちを想像することなどが、安心感を与えるポイントだと考えられます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 16</p> |  | <p>以上で意見交換を終わります。</p> |

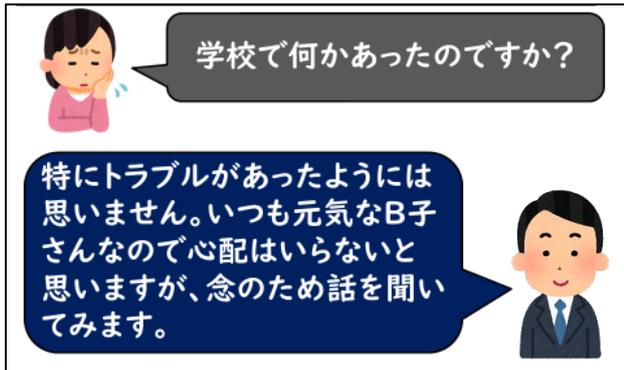
| | | |
|-----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 17</p> | <div data-bbox="300 280 694 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">事例紹介 → 場面Ⅰの意見交換 → 場面Ⅱの意見交換 → まとめ</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 「いじめの捉え方」を再認識することができましたか。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> いじめられた児童生徒や保護者の気持ちに寄り添った教育相談の在り方を考えることができましたか。</p>  </div> | <p>全体のまとめの時間です。今日は、動画での講義と意見交換の二つを通して、「いじめの捉え方」を改めて再認識するとともに、保護者や子どもの気持ちに寄り添った教育相談の在り方について考えました。次回の意見交換では、A先生がB子の母親から相談を受けた後、学校の組織として、どのように対応していくかについて、実際にシミュレーションしながら考えます。</p> <p>なお、配付しているハンドブック資料で、今日の研修内容を振り返ることができます。御活用ください。</p> <p>それでは、ここで、校長先生（教頭先生）に御指導いただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> |
|-----------------------------------|---|--|

いじめの早期対応に関する研修 校内研修 I

【ねらい】

A先生のいじめの早期対応事例を通して、「いじめの捉え方」を見直し、児童生徒や保護者の気持ちに寄り添った、教育相談の在り方を考える。

場面Ⅰ：保護者からの相談



学校で何かあったのですか？

特にトラブルがあったようには
思いません。いつも元気なB子
さんなので心配はいらないと
思いますが、念のため話を聞いて
みます。

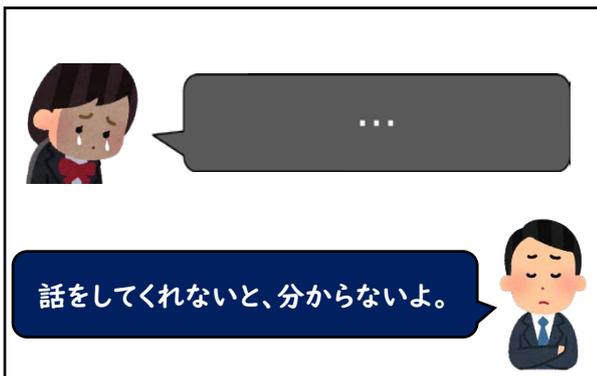
【A先生の課題】



Q：あなたなら、B子の母親からの相談に対して、どのように話をしますか？



場面Ⅱ：B子との教育相談



...

話をしてくれないと、分からないよ。

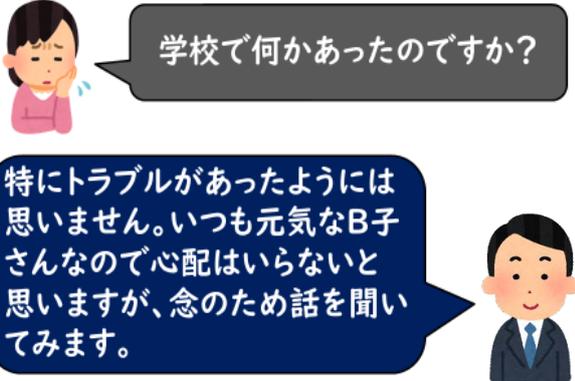
【心掛けたらよいこと】



Q：あなたなら、沈黙しているB子に対して、どのように声を掛けますか？



場面Ⅰ：保護者からの相談



学校で何かあったのですか？

特にトラブルがあったようには
思いません。いつも元気なB子
さんなので心配はいらないと
思いますが、念のため話を聞いて
みます。

【課題点】

- 保護者のつらい気持ちや不安な気持ちを共感的に受け止めていない。
- 「心配はிரらない」「念のため」などと、先入観を持って対応している。

など



Q：あなたなら、B子の保護者からの相談に対してどのように話をしますか。

(例) そうでしたか。御心配をお掛けして、申し訳ございませんでした。私の方から、Bさんに声を掛けてみます。(その上で、今日のB子さんの様子や今後のことについて、改めて御相談したいと思います。放課後、お宅に伺いたいと思うのですが、御都合はいかがでしょう。)



場面Ⅱ：B子との教育相談



話をしてくれないと、分からないよ。

【心掛けたらよいこと】

- B子のつらい気持ちに寄り添う。
- B子が沈黙しているのは、どんな思いがあるから話せないのかを想像する。
- 話し手のペースに合わせる。

など



Q：あなたなら、沈黙しているB子に対して、どのように声を掛けますか？

(例) 本当につらかったんだね。B子さんにはつらい思いをさせてしまっでごめんね。もうこれ以上、つらい思いをさせたくない。だから、何がそんなに悲しいのか、教えてくれないかな？ ゆっくり話を聴くよ。(どんなことがあったの？)

※いじめの内容を話すことはとてもつらいことだと理解した上で、話が途切れても急かさない。



いじめの早期対応に関する研修 校内研修 I

【ねらい】

A先生のいじめの早期対応事例を通して、「いじめの捉え方」を見直し、児童生徒や保護者の気持ちに寄り添った教育相談の在り方を考える。

場面 I : 保護者からの相談



学校で何かあったのですか？



【セリフのポイント】

ワークシートNo.3

【グループ用】

場面Ⅱ：B子との教育相談



...

※A先生のセリフは、B子が沈黙しているときのセリフとします。



【セリフのポイント】

① いじめの早期対応ハンドブック

このハンドブックについて
このハンドブックは、動画資料の要旨及び補足資料になります。研修を振り返りたいときや、より詳しく知りたいときに活用ください。

1 いじめをどう捉えるのか

いじめは、どの子どもにも起こり得る

「仲間はずれ・無視・陰口」の経験回数割合

「仲間はずれ、無視、陰口などの暴力を伴わないいじめ」

○された経験がある・・・91%

○した経験がある・・・85%

国立教育政策研究所 いじめ追跡調査2016-2018 2021

いじめに関する調査データに基づいた「いじめの実態」から考えていきましょう。国立教育政策研究所生徒指導・進路指導センターが実施したいじめ追跡調査を見ると、2016年度に小学校4年生であった児童で、仲間はずれ、無視、陰口など、暴力を伴わないいじめを、した、された経験がある児童生徒は、それぞれおよそ9割でした。この結果から、**暴力を伴わないいじめは、どの学校にも、どのクラスにも、どの子どもにも起こり得ると**言えます。

どの子どもも加害者にも被害者にもなり得る

東京都の小学4年生から高校3年生
約1万人に対する調査

いじめた経験-いじめられた経験
どちらも経験している児童生徒 ... **約47%**

「いじめの問題に関する研究(2年次)」東京都教育委員会
研修センター紀要第13号 平成25年度

どの子どもも、加害者にも、被害者にもなり得る

東京都教職員研修センターの「いじめ問題に関する研究報告書」において、東京都の小学校4年生から高校3年生までの約1万人に対して行った調査結果を見ると、約47%の子どもが、「いじめた経験」「いじめられた経験」のどちらにも経験していると回答しています。この調査結果から、**いじめは、どの子どもも加害者にも被害者にもなり得る**ことが分かります。いじめは、特定の気になる子どもにも起こるものだという思い込みを持たないようにしましょう。

いじめの定義

いじめとは何か

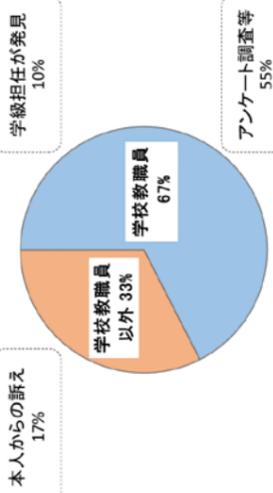
児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等、当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であつて、当該行為の対象となった児童等が**心身の苦痛を感じている**もの。

「いじめ防止対策推進法」平成25年

児童生徒の感じる心身の苦痛に着目することが必要

いじめの早期発見のために

いじめ発見のきっかけ



文部科学省「児童生徒の居場所・不登校等生徒保護上の課題に関する調査」令和2年度

文部科学省の調査結果によると、一番に多いいじめ発見のきっかけは、「アンケート調査」となっており、早期に発見する手立てとして有効であることが分かります。また、「学級担任が発見」が10%あり、**目頃から児童生徒が示す小さな変化や危険信号を見逃さないようアンケートを高く保つことが有効な発見のきっかけとなること分かります**。愛媛県教育委員会人権教育課が作成したチェックリストを活用することなども早期発見に役立ちます。

早期対応の重要性

早期発見・早期対応

早期発見で大切なこと

・ささいな変化・行為に対して気付く

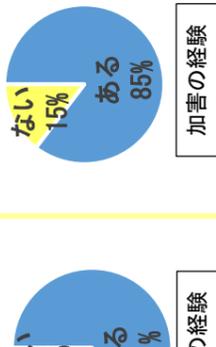
早期対応で大切なこと

・気付いた変化・行為を複数の教職員で確認し、対応する

早期発見で大切なことは、私たちが子どものささいな変化や行為に気付くことです。また、早期対応で大切なことは、その気付きを、すぐに複数の教職員で確認し、対応することです。そのために**私たちが共通理解しておかなければならないことは、気付いた変化、行為は、すぐに組織に報告するということです**。いじめの捉え方について、教職員全員が共通理解を持ち、子どものささいな変化や行為に対して、早期に組織的に対応することが必要です。

DATA

暴力を伴わないいじめの経験率



国立教育政策研究所 「いじめ追跡調査 2016-2018」 2021

資料

〈文部科学省〉

- いじめ対策に係る事例集
- いじめ問題に対する取組事例集
- 「ネット上のいじめ」に関する対応マニュアル・事例集

DATA

いじめた経験・いじめられた経験の有無

| いじめた経験 | いじめられた経験 | | 合計人数 |
|--------|----------------|----------------|-----------------|
| | ある | なし | |
| ある | 4391 (46.9) | 983 (10.5) | 5374 (57.4) |
| なし | 1790 (19.1) | 2125 (22.7) | 3915 (41.9) |
| 無回答 | 14 (0.2) | 7 (0.1) | 21 (0.2) |
| 合計人数 | 6195 (66.2) | 3115 (33.3) | 9310 (100.0) |

東京都教職員研修センター「いじめ問題に関する研究報告書」2014

いじめ問題に関する理解を深める資料

※資料は各ホームページからダウンロードできます。

- 〈国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導センター〉
- 「生徒指導リーフ」シリーズ
- 「生徒指導リーフ増刊号」シリーズ
- 生徒指導支援資料1～7

資料

いじめに関する法律・基本方針等

- いじめ防止対策推進法
- いじめの防止等のための基本的な方針
- いじめの重大事態の調査に関するガイドライン
- 不登校重大事態に係る調査の指針
- 子供の自殺が起きたときの背景調査の指針 (改訂版)

資料

愛媛県教育委員会人権教育課

いじめ発見のチェックポイント (一部抜粋)

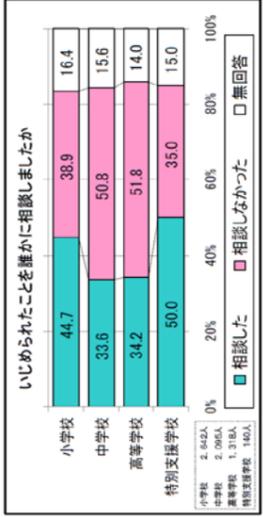
注意しておきたい児童のサインです。気になる児童はいまませんが。

- 〈朝の会〉
- 遅刻・欠席が増える。
 - 始業時刻過ぎの登校が目立つ。
 - 登校時表情がさえず、うつむきがちである。
 - 健康観察の時、声がいささか元気がない。
- 〈授業中〉
- 持ち物が紛失したり、落書きされたりする。
 - 急に忘れ物が多くなる。
 - 用具・机・椅子等が壊れる。
 - 周囲の児童に冷やかすようなさつぱつさが見られる。
 - 頭痛・腹痛を訴え、保健室に行きたがる。
 - グループ活動において孤立しがちである。
 - テストの成績が急激に下がりはじめ。
 - 一人ぼっちで入塾することがある。
 - ふざけた質問や答えをする、テストを白紙で出す。
- 〈休み時間〉
- 教室や廊下に一人で行っていることが多い。
 - 今まで一緒に遊んでいた友達やグループから離れている。
 - 友だちと一緒に遊んでいる様子が見られない。
 - 友だちと一緒に遊んでいる様子が見られない。
 - そばを通る児童が穴だらけに避けて通る。ちよつがいける。

※全てをたたい場合は、愛媛県教育委員会人権教育課HPを参照

DATA

いじめを相談した子どもの割合



東京都教職員研修センター「いじめ問題に関する研究報告書」2014



2 児童生徒、保護者からのいじめに関する相談にどう対応すればよいか

Q 傾聴が大切だと聞きましたが、ただ聞くだけでいいのですか？



A 聞くだけでは不十分！

相談は、「聞く」ことから始まりますが、ただ「聞く」だけでは不十分です。質問をするなど、相談者を理解しようと意識して「聴く」ことが必要です。(傾聴) 傾聴の際のポイントは、以下のとおりです。

教育相談にやってくる子どもは、抱える問題も多様であり、心の状態も様々です。特に、いじめについての相談では、うまく自分の思いを言葉にできず、沈黙の時間が長くなるとあります。しかし、この沈黙の時間に相談者は自分の気持ちや話す内容を整理しています。ですから、沈黙の間を大切に、相談者のペースに合わせる必要があります。

ポイント1 相談者に合わせた話し方

相談にやってくる子どもは、
○話す姿勢に不安がない
○傾聴が定まらない
○心の状態(気持ち)が不安定
など

沈黙

ポイント2 相談者の立場を想像

○相談者が体験したこと
○相談者の思い

共感的理解

相談者が体験したことや話の裏側にある思い、今まで頑張ってきた姿を想像しながら聴くことが大切です。これを「共感的理解」と呼びます。

ポイント3 受容の態度を伝える

○うなずき(肯定の意思)
○頑強さを認める言葉掛け
○相談内容の繰り返し

相談者が話す内容にうなずいたり、「今まで辛い思いに耐えてきたんですね。」などの頑強さを認める言葉掛けをしたりする受容の態度は、相談者の心を開きやすくさせます。

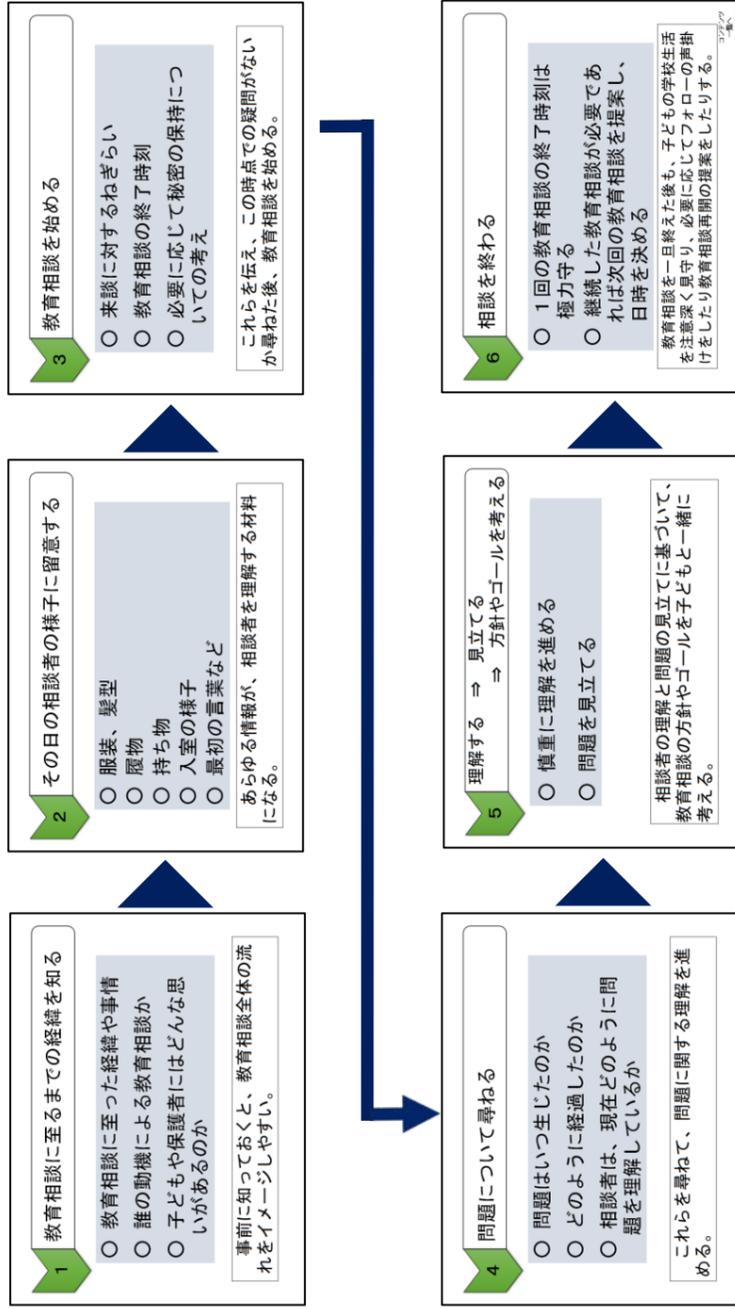
資料

「やってみかね 教育相談」

愛媛県総合教育センター教育相談室が作成した教育相談に関する研修資料です。「やってみかね 教育相談」は、教育センターのホームページからダウンロードできます。

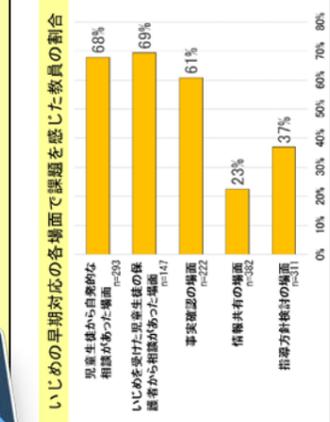
教育相談の流れ

教育相談は、一般的に下に示しているような流れで行います。それぞれの場面のポイントを確かめましょう。

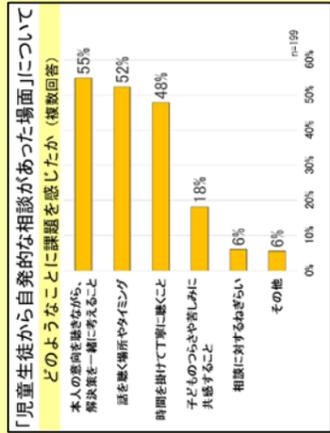


DATA

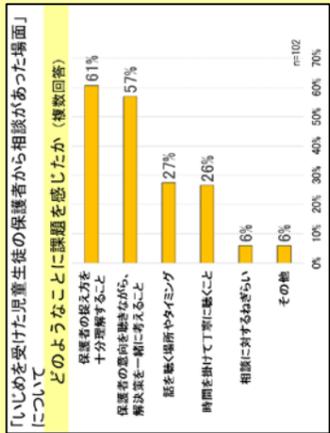
いじめの早期対応に関するアンケート調査 (愛媛県総合教育センター 教育相談室 R3)



(資料1)



(資料2)



(資料3)

令和3年度に愛媛県総合教育センター早期対応のアンケート調査を見ると、本室が設定したいじめの早期対応の五つの場面のうち、教員が課題を感じた割合が高かったのは、児童生徒からの自発的な相談場面といじめを受けた児童生徒の保護者からの相談場面でした(資料1)。また、この二つの場面において、教員が課題と感じた内容の上位項目に注目すると、児童生徒から話を聴く場所やタイミング、保護者のいじめの捉え方を十分理解すること、また、共通事項として本人や保護者の意向を聴きながら解決策を一緒に考えることが挙げられました(資料2、3)。これらの結果から、児童生徒、保護者の考えを丁寧に聴き、相手の気持ちに寄り添う教育相談のスキルに課題があると考えられます。

教育相談のタイミング

教育相談のタイミングは、教師が作るのが基本です。相談のタイミングは、四つに分かれます。

呼出し相談

- 教員が子どもを呼出して行う
- 理由を明確に告げる

例：「～について、少し詳しくあなたの考えを聞きたいんだけど…」

チャンス相談

- 子どもの不適応や心の危機のサインを感じたときに随機応答に行う

サインの例：遅刻や欠席が急に増えた
行動や表情が急に変わった
紛失や忘れ物が増えた
孤立している など

定期相談

- 子ども全員を対象にする
- 一人当たりの時間を均等に作る
- 気になった子どもにも呼出し相談を提案する

自発相談

- 優先的に時間を設ける
- 子どもからの自発的な申し出には、相応な理由があると考えられる場合でも、必ずその場で対応する

愛媛県総合教育センター 教育相談室

TEL089-963-3986

※子どもとその保護者及び教職員を対象に、教育に関する相談・支援を行っています。

【資料 2】

校内研修 2

| 展開 | 時間 (分) | 進行内容 | 留意点 |
|------------------|--------|---|--|
| 導入 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ただいまから、2回目のいじめの早期対応に関する研修をはじめます。 ・研修全体の流れを説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・4～5人のグループをあらかじめ作っておく。 ・資料を事前に配付しておく。 |
| | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義動画を再生する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、プロジェクターを準備しておく。 |
| ねらい 流れの 説明 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド1～3を進行する。 | |
| 事例確 認 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド4を進行する。 | |
| 第1ラ ウンド | 25 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド5～7を進行する。 (グループでの意見交換) | <ul style="list-style-type: none"> ・配付資料「事例資料」を使用する。 ・付箋(大・小)、ペンを使用する。参加者は、学校いじめ防止基本方針を持参する。 ・移動は、1回のみ。 |
| 第2ラ ウンド | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド8～9を進行する。 (全体での意見交換1) | <ul style="list-style-type: none"> ・第1ラウンドでまとめた模造紙を見せながら、他グループのメンバーに説明する。 ・時間は移動時間を含む。 |
| 第3ラ ウンド | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド10～12を進行する。 (全体での意見交換2) | <ul style="list-style-type: none"> ・他グループで出ていた意見を自グループに報告する。 ・時間は移動時間を含む。 |
| まとめ | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド13を進行する。 | |
| 全体の まとめ | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド14を進行する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に校長先生(教頭先生)に指導助言を依頼しておく。 |

60分

| 展開 | 時間(分) | 進行内容 | 留意点 |
|------------------|-------|---|--|
| 導入 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ただいまから、2回目のいじめの早期対応に関する研修をはじめます。 ・研修全体の流れを説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、プロジェクターを準備しておく。 ・4～5人のグループをあらかじめ作っておく。 ・資料を事前に配付しておく。 |
| ねらい 流れの 説明 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド1～3を進行する。 | |
| 事例確 認 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド4を進行する。 | |
| 第1ラ ウンド | 30 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド5～7を進行する。 (グループでの意見交換) | <ul style="list-style-type: none"> ・配付資料「事例資料」を使用する。 ・付箋(大・小)、ペンを使用する。参加者は、学校いじめ防止基本方針を持参する。 ・移動は、1回のみ。 |
| 第2ラ ウンド | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド8～9を進行する。 (全体での意見交換1) | <ul style="list-style-type: none"> ・第1ラウンドでまとめた模造紙を見せながら、他グループのメンバーに説明する。 ・時間は移動時間を含む。 |
| 第3ラ ウンド | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド10～12を進行する。 (全体での意見交換2) | <ul style="list-style-type: none"> ・他グループで出ていた意見を自グループに報告する。 ・時間は移動時間を含む。 |
| まとめ | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド13を進行する。 | |
| 全体の まとめ | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド14を進行する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に校長先生(教頭先生)に指導助言を依頼しておく。 |

60分

| 展開 | 時間(分) | 進行内容 | 留意点 |
|------------------|-------|---|--|
| 導入 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ただいまから、2回目のいじめの早期対応に関する研修をはじめます。 ・研修全体の流れを説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・4～5人のグループをあらかじめ作っておく。 ・資料を事前に配付しておく。 |
| | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・動画を再生する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、プロジェクターを準備しておく。 |
| | 15 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内の担当者が、自校の学校いじめ防止基本方針について説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に校内担当者に説明の依頼をしておく。 ・参加者は、学校いじめ防止基本方針を持参する。 |
| ねらい 流れの 説明 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド1～3を進行する。 | |
| 事例確 認 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド4を進行する。 | |
| 第1ラ ウンド | 35 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド5～7を進行する。 (グループでの意見交換) | <ul style="list-style-type: none"> ・配付資料「事例資料」を使用する。 ・付箋(大・小)、ペンを使用する。 ・移動は、1回のみ。 |
| 第2ラ ウンド | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド8～9を進行する。 (全体での意見交換1) | <ul style="list-style-type: none"> ・第1ラウンドでまとめた模造紙を見せながら、他グループのメンバーに説明する。 ・時間は移動時間を含む。 |
| 第3ラ ウンド | 15 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド10～12を進行する。 (全体での意見交換2) | <ul style="list-style-type: none"> ・他グループで出ていた意見を自グループに報告する。 ・時間は移動時間を含む。 |
| まとめ | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド13を進行する。 | |
| 全体の まとめ | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド14を進行する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に校長先生(教頭先生)に指導助言を依頼しておく。 |

90分

| 展開 | 時間(分) | 進行内容 | 留意点 |
|------------------|-------|---|---|
| 導入 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ただいまから、2回目のいじめの早期対応に関する研修をはじめます。 ・研修全体の流れを説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、プロジェクターを準備しておく。 ・4～5人のグループをあらかじめ作っておく。 ・資料を事前に配付しておく。 |
| | 15 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内の担当者が、自校の学校いじめ防止基本方針について説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に校内担当者に説明の依頼をしておく。 ・参加者は、学校いじめ防止基本方針を持参する。 |
| ねらい 流れの 説明 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド1～3を進行する。 | |
| 事例確 認 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド4を進行する。 | |
| 第1ラ ウンド | 35 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド5～7を進行する。 (グループでの意見交換) | <ul style="list-style-type: none"> ・配付資料「事例資料」を使用する。 ・付箋(大・小)、ペンを使用する。 ・移動は、1回のみ。 |
| 第2ラ ウンド | 15 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド8～9を進行する。 (全体での意見交換1) | <ul style="list-style-type: none"> ・第1ラウンドでまとめた模造紙を見せながら、他グループのメンバーに説明する。 ・時間は移動時間を含む。 |
| 第3ラ ウンド | 15 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド10～12を進行する。 (全体での意見交換2) | <ul style="list-style-type: none"> ・他グループで出ていた意見を自グループに報告する。 ・時間は移動時間を含む。 |
| まとめ | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド13を進行する。 | |
| 全体の まとめ | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド14を進行する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前に校長先生(教頭先生)に指導助言を依頼しておく。 |

90分

いじめ早期対応事例について考える

「A先生がB子の母親の電話を受けた」時点から、翌日の放課後までの間の対応について、いつ、誰が、どのような対応をするのかシミュレーションしてみましょう。

場面Ⅰ：B子の母親からの連絡



ある日の朝、A先生が職員室で授業の準備をしていたところ、B子の母親から電話があった。（これ以降の対応をシミュレーションしましょう。）

B子の母親の話では、昨日、B子が家に帰ってから一人で部屋に閉じこもっているので、理由を何度も聞いたところ、「何でもないから。自分で解決できるから大丈夫。」と答えたそうである。B子の母親に「学校で何かあったのですか？」と尋ねられたが、A先生には思い当たることなかったため、「特にトラブルがあったようには思いません。いつも元気なB子なので心配はいらないと思いますが、念のために話を聞いてみます。」と答えて電話を切った。



場面Ⅱ：B子との教育相談



その日の昼休み、A先生はB子を相談室に呼んで話を聞こうとしたが、B子は涙ぐみ、なかなか話そうとはしなかった。A先生は、「話をしてくれないと、分からないよ。」と言った。B子はしばらく黙っていたが、重い口を開き、同じ委員会活動のC子（クラスは別）とうまく話していないことを話した。C子に話し掛けても無視をされたり、友達と話をしていても、その友達をC子が連れて行ったりするようである。A先生は、B子に「この後、C子を呼んで、私が話を聞いてみるよ。」と言って、B子との教育相談を終えた。



いじめ早期対応事例について考える

「A先生がB子の母親の電話を受けた」時点から、翌日の放課後までの間の対応について、いつ、誰が、どのような対応をするのかシミュレーションしてみましょう。

場面Ⅰ：B子の母親からの連絡



ある日の朝、A先生が職員室で授業の準備をしていたところ、B子の母親から電話があった。（これ以降の対応をシミュレーションしましょう。）

B子の母親の話では、昨日、B子が家に帰ってから一人で部屋に閉じこもっているので、理由を何度も聞いたところ、「何でもないから。自分で解決できるから大丈夫。」と答えたそうである。B子の母親に「学校で何かあったのですか？」と尋ねられたが、A先生には思い当たることなかったため、「特にトラブルがあったようには思いません。いつも元気なB子なので心配はいらなと思いますが、念のために話を聞いてみます。」と答えて電話を切った。



場面Ⅱ：B子との教育相談



その日の放課後、A先生はB子を相談室に呼んで話を聞こうとしたが、B子は涙ぐみ、なかなか話そうとはしなかった。A先生は、「話をしてくれないと、分からないよ。」と言った。B子はしばらく黙っていたが、重い口を開き、同じ部活動のC子（クラスは別）とうまく話していないことを話した。C子に話し掛けても無視をされたり、友達と話をしていても、その友達をC子が連れて行ったりするようである。A先生は、B子に「この後、C子を呼んで、私が話を聞いてみるよ。」と言って、B子との教育相談を終えた。

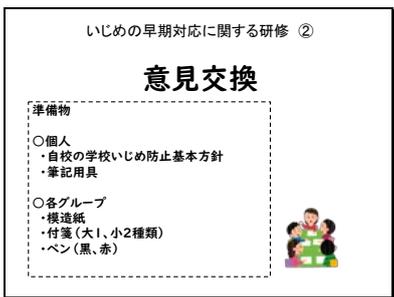
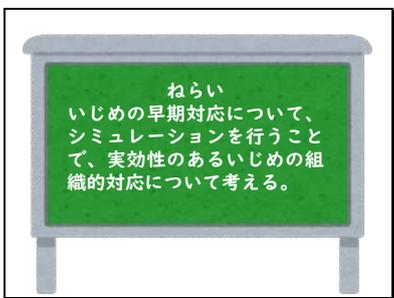


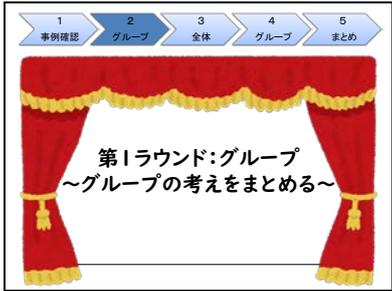
| | | |
|----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 1</p> | <div data-bbox="240 181 632 474" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>いじめの早期対応に関する研修②</p> <h2>いじめの組織的対応のポイント</h2> <p>(第1部)</p> <p>愛媛県総合教育センター</p> </div> | <p>いじめの組織的対応のポイントについての講義を始めます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 2</p> | <div data-bbox="240 616 632 909" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="background-color: #0056b3; color: white; text-align: center; padding: 2px;">本日の内容</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">実効性のあるいじめの組織的対応の構築に向けて</p> </div> | <p>今回の研修の目的は、「実効性のあるいじめの組織的対応を構築するためにどうすればよいか」を考えることです。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 3</p> | <div data-bbox="240 1149 632 1442" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">普段の生徒指導の取組を振り返ると</p> <p style="font-size: small;">生徒指導は複数の教員で対応することについて、あなたが心掛けていたことは？</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">AIテキストマイニング (Source: http://www.tokai-u.ac.jp/~ai/)</p> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">愛媛県総合教育センター 「いじめの早期対応に関するアンケート」の結果 令和3年</p> </div> | <p>スライドに示した図は、令和3年度に愛媛県総合教育センター教育相談室が実施した「いじめの早期対応に関するアンケート」の「生徒指導は複数の教員で対応することについて、あなたが心掛けていたことは？」の質問の回答をAIテキストマイニングで分析した結果です。この分析から、「1 管理職、学年主任、生徒指導担当教員に報告、連絡、相談する」「2 複数の教員で対応する」「3 学年で情報を共有する」の三つのまとまりに整理することができ、多くの先生方が、普段から、適切に、組織的対応を心掛けていることが読み取れます。</p> |

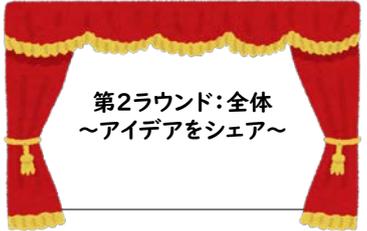
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|---|--|-----|------|-----|--|-----|--------|-----|------|----|-----|----|-----|----|---|
| <p>ス ラ イ ド 4</p> | <p>主な相談相手</p> <p>生徒指導上のことを誰に相談していますか？</p> <table border="1"> <tr><td>複数の教員</td><td>40%</td></tr> <tr><td>学年主任</td><td>26%</td></tr> <tr><td>管理職</td><td>14%</td></tr> <tr><td>生徒指導主事</td><td>13%</td></tr> <tr><td>養護教諭</td><td>2%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>3%</td></tr> </table> <p>愛媛県総合教育センター 「いじめの早期対応に関するアンケート」の結果 令和3年</p> | 複数の教員 | 40% | 学年主任 | 26% | 管理職 | 14% | 生徒指導主事 | 13% | 養護教諭 | 2% | その他 | 2% | 無回答 | 3% | <p>次に、「生徒指導上のことを誰に相談しているか」の質問では、先生方が同僚の教員や学年主任といった身近な人に相談しながら、生徒指導上の諸課題に対応していることが分かります。</p> |
| 複数の教員 | 40% | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学年主任 | 26% | | | | | | | | | | | | | | | |
| 管理職 | 14% | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒指導主事 | 13% | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養護教諭 | 2% | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 2% | | | | | | | | | | | | | | | |
| 無回答 | 3% | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>ス ラ イ ド 5</p> | <p>普段の生徒指導の取組を振り返ると</p> <p>生徒指導上のことを一人で対応してうまくいかないことがありましたか？</p> <table border="1"> <tr><td>ある</td><td>18%</td></tr> <tr><td>ない</td><td>82%</td></tr> </table> <p>「一人で対応した」主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周囲の先生方の手を煩わせたくない ・ 自分一人で何とかできるだろうと思った <p>愛媛県総合教育センター 「いじめの早期対応に関するアンケート」の結果 令和3年</p> | ある | 18% | ない | 82% | <p>一方で、別の質問項目「生徒指導上のことを一人で対応してうまくいかないことがありましたか？」に対して、18%の先生が一人で対応してうまくいかなかったと回答しています。その理由としては、「周囲の先生方の手を煩わせたくない」「自分一人で何とかできるだろうと思った」などの意見が多く挙げられていました。</p> | | | | | | | | | | |
| ある | 18% | | | | | | | | | | | | | | | |
| ない | 82% | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>ス ラ イ ド 6</p> | <p>「いじめの早期対応に関するアンケート」の結果から</p> <p>複数の教員で対応するという意識を持って生徒指導に当たっている先生は多い</p> <p>↓</p> <p>周囲の先生の手を煩わせたくない等の理由から、一人で対応してうまくいかなかった場面もある (教職員の抱え込み)</p> <p>愛媛県総合教育センター 「いじめの早期対応に関するアンケート」の結果 令和3年</p> | <p>これらのことから、多くの先生方が組織的対応の大切さを意識しているものの、周囲の先生方の手を煩わせたくないといった理由で、問題を一人で抱え込んでしまい、問題の解決に至らないこともあるということが推察できます。</p> | | | | | | | | | | | | | | |

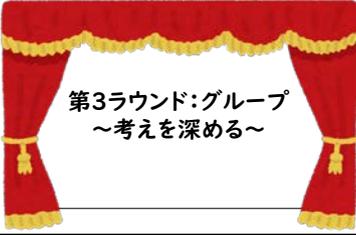
| | | |
|----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 7</p> | <div data-bbox="240 181 632 472" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">いじめの早期対応における 実効的な組織的対応に向けて</p> <p style="text-align: center;">ポイント</p> <p style="text-align: center;">教職員による抱え込みを防ぐ</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center; color: red;">情報共有・対応の流れを具体化</p> </div> | <p>こうした抱え込みを防ぐためには、情報共有、対応の流れを具体化することが大切であると考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 8</p> | <div data-bbox="240 712 632 1003" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">いじめの早期対応における 実効的な組織的対応に向けて</p> <p>たとえば・・・ ある先生が、児童生徒のささいなトラブルを見かけた</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: left;"> <p>↓</p> <p>・ささいなことだと思っから、報告しなくてもよいかな・・・ ・一過性のトラブルかもしれない・・・</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">重大なトラブルに発展してしまう可能性がある。</p> </div> <div style="text-align: left;"> <p>↓</p> <p>「組織」の「集約担当」に報告</p> </div> </div> <p style="font-size: x-small; text-align: center;">国立教育政策研究所生徒指導・進路指導センター 生徒指導リーフ19 学校の「組織」で行ういじめの「認知」の手順</p> </div> | <p>この情報共有、対応の具体化については、国立教育政策研究所の生徒指導リーフを例に説明をします。</p> <p>例えば、ある先生が、児童生徒のささいなトラブルを見かけたとします。ささいなことだと思い、そのままにしてしまうと重大なトラブルに発展してしまう可能性もあります。だからといって、日々発生する様々な事案の全てを、「組織」の全メンバーが、顔をそろえて検討することには無理があります。そこで、実効性のある組織的対応としては、校内にいじめの情報を集約する担当者を置くことが考えられます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 9</p> | <div data-bbox="240 1290 632 1581" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px;">いじめの早期対応における 実効的な組織的対応に向けて</p> <p style="text-align: center;">児童生徒のささいなトラブルを見かけた教員</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">日時・場所・児童生徒の氏名</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center; color: red;">「組織」の「集約担当」</p> <p style="font-size: x-small; text-align: center;">国立教育政策研究所生徒指導・進路指導センター 生徒指導リーフ19 学校の「組織」で行ういじめの「認知」の手順</p> </div> | <p>具体的には、児童生徒のささいなトラブルを見かけた教員は、事案の内容、日時、場所、関係児童生徒氏名等を集約担当に、簡潔にかつ速やかに伝えます。</p> |

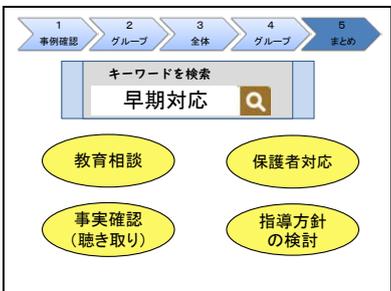
| | | |
|-----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 10</p> | <div data-bbox="240 181 633 472" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; margin: 0;">いじめの早期対応における 実効的な組織的対応に向けて</p> <p style="text-align: center; margin: 5px 0;">「組織」の「集約担当」の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の情報を、整理、記録、集約する ・各事案の緊急性に応じた対応の仮判断を行う ・校長の承認を得て、対応を実行に移す <p style="font-size: small; text-align: center; margin: 0;">国立教育政策研究所生徒指導・進路指導センター 生徒指導リーフレット 学校の「組織」で行ういじめの「認知」の手順</p> </div> | <p>集約担当者は、例えば、すぐに組織を集めて協議が必要であるとか、数日、子どもの様子を観察するとか、または、一過性のものであると判断して記録のみに留めておくなど、緊急性についての仮判断を行い、校長先生の承認を得て、実際に対応していきます。これは実効的な組織的対応の一例です。各学校において、学校いじめ防止基本方針をベースにして、具体的な対応の流れや体制を検討する必要があります。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 11</p> | <div data-bbox="240 712 633 1003" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">いじめの早期対応に関する研修②</p> <p style="text-align: center; font-size: large; font-weight: bold;">いじめの組織的対応のポイント</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">(第1部)</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">愛媛県総合教育センター</p> </div> | <p>以上でいじめの組織的対応のポイントの講義を終わります。続いて、事例を用いた意見交換を行います。第2部は、各学校での進行となりますので、担当の先生の指示に従ってください。</p> |

| | | |
|----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 1</p> |  <p>いじめの早期対応に関する研修 ②</p> <h3>意見交換</h3> <p>準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個人 <ul style="list-style-type: none"> ・自校の学校いじめ防止基本方針 ・筆記用具 ○各グループ <ul style="list-style-type: none"> ・模造紙 ・付箋(大1、小2種類) ・ペン(黒、赤) | <p>それでは、動画の内容も踏まえながら、いじめの早期対応に関する事例について、意見交換を行います。</p> <p>(準備物の確認を簡単に行う)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 2</p> |  <p>ねらい</p> <p>いじめの早期対応について、シミュレーションを行うことで、実効性のあるいじめの組織的対応について考える。</p> | <p>ねらいの確認です。いじめの早期対応の場面で、いつ、だれが、どのように対応するのかといった、いじめの早期対応のシミュレーションをすることで、具体的かつ実現可能な対応の流れについての共通理解を図り、実効性のあるいじめの組織的対応について考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 3</p> |  <h3>意見交換の流れ</h3> <ol style="list-style-type: none"> 1 事例確認 2 第1ラウンド: グループ (25分) 3 第2ラウンド: 全体 (10分) 4 第3ラウンド: グループ (10分) 5 まとめ <p>※シミュレーションはグループで行う。</p> | <p>この時間の意見交換の流れです。今回は、この五つの流れで、意見交換を行います。</p> |

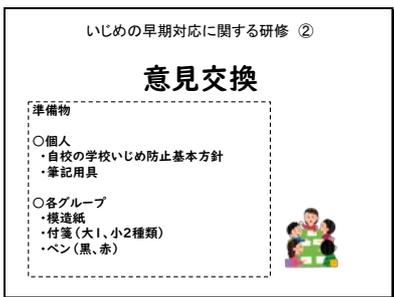
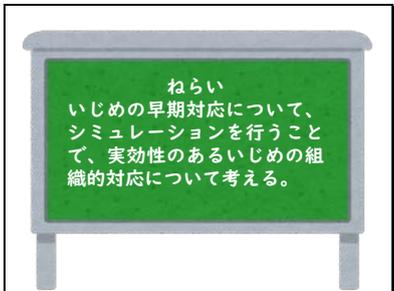
| | | |
|----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 4</p> |  | <p>まずは、事例の確認です。配付している事例資料を御覧ください。今回も、前回と同じ事例を使用します。</p> <p>実際に、この事例が本校で起こったとして、学校が組織としてどのように対応していくのかを、グループでシミュレーションします。シミュレーションの範囲は、ある日の朝、A先生がB子の母親の電話を受けた時点から、翌日の放課後までの、おおよそ2日間とします。この間に、いつ、誰が、どのような対応をするのかということについて、グループで意見交換をします。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 5</p> |  | <p>では、第1ラウンドをはじめます。意見交換は、配付資料「意見交換の進め方」に基づいて進めていきます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 6</p> | <div data-bbox="304 1491 692 1783" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第1ラウンドの手順】 グループの考えをまとめる</p> <p>(1) 配付している付箋に、必要な対応を各自記入する。(5分間)</p> <p>(2) マスターを決める。</p> <p>(3) 模造紙に、内容のまとまりを考えながら付箋を貼る。</p> <p>(4) まとまった内容について、いつ、誰がそれを実行するのかを考え、付箋小を貼る。</p>  </div> | <p>まず、各グループに配付している大小の付箋のうち、大きい付箋に、A先生が電話を受けた時から、翌日の放課後までに、必要と考えられる対応について、その内容を各自5分で記入してください。枚数は、何枚書いても構いません。なお、いつ、誰がその対応を実行するかは、後で考えますので、対応内容のみを記入してください。では、記入を始めてください。</p> <p>(5分間)</p> |

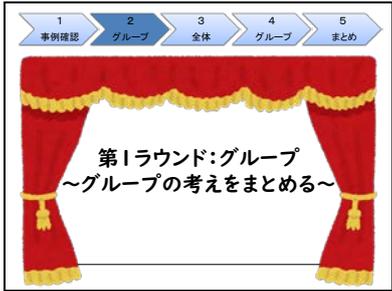
| | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|--|---------|---------|------|---------|------|--|
| <p>ス ラ イ ド 7</p> | <div data-bbox="304 286 692 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第1ラウンドの手順】 グループの考えをまとめる</p> <p>(1) 配付している付箋に、必要な対応を各自記入する。 (2) マスターを決める。 (3) 模造紙に、内容のまとまりを考えながら付箋を貼る。 (4) まとまった内容について、いつ、誰がそれを実行するかを考え、付箋小を貼る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">○付箋大</td> <td style="padding: 2px;">… 必要な対応</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">○付箋小(青)</td> <td style="padding: 2px;">… いつ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">○付箋小(緑)</td> <td style="padding: 2px;">… 誰が</td> </tr> </table>  </div> | ○付箋大 | … 必要な対応 | ○付箋小(青) | … いつ | ○付箋小(緑) | … 誰が | <p>時間になりました。書くのをやめてください。それでは、意見交換を進めていきます。配付資料「意見交換の進め方」を御覧ください。意見交換の時間は20分間です。まず、グループ内でマスターを一人決めてください。マスターは、意見交換の進行と、第2ラウンドで自グループの意見交換の内容の説明をしてもらいます。第1ラウンドでは、各自が記入した付箋を、内容のまとまりを考えながら模造紙に貼っていきます。付箋を貼る時は、どんな内容が書いてあるか、その都度、紹介しながら貼ってください。内容のまとまりがある程度見えてきたら、2色の小さな付箋を使って、いつ、だれがそれを実行するかを考えます。青色の付箋はいつ実行するかのタイミングを、緑の付箋は誰がそれを実行するのかを記入し、模造紙に貼っていきます。対応の流れを考える時は、持参している学校いじめ防止基本方針に基づいて考えます。では、こちらが合図するまで、意見交換をしながら作業を進めてください。</p> |
| ○付箋大 | … 必要な対応 | | | | | | | |
| ○付箋小(青) | … いつ | | | | | | | |
| ○付箋小(緑) | … 誰が | | | | | | | |
| <p>ス ラ イ ド 8</p> | <div data-bbox="300 1384 692 1682" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  <div style="background-color: red; color: white; padding: 10px; border: 1px solid black; margin: 10px 0;"> <p>第2ラウンド: 全体 ~アイデアをシェア~</p> </div>  </div> | <p>時間ですので話し合いをやめてください。次に、グループで出たアイデアを、全体でシェアしていきたいと思います。</p> | | | | | | |

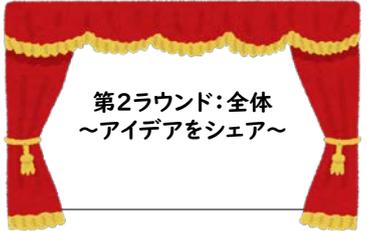
| | | |
|-----------------------------------|---|---|
| <p>ス ラ イ ド 9</p> | <div data-bbox="304 286 692 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第2ラウンドの手順】 アイデアをシェア</p> <p>(1)マスターは、その場に留まる。旅人は、他のグループに移動する。 ※同じグループの人が重ならないようにする。 (2)移動が終わったら、マスターは、自分のグループの対応内容を説明する。 (3)旅人は、「違い」があれば紹介するなど、その場で意見交換を行う。</p>  </div> | <p>各グループのマスターはその場に留まってください。他のメンバーは、旅人として別のグループに自由に移動してください。ただし、同じグループの人が他のグループで重ならないようにしてください。マスターは、旅人が集まったら、自分のグループのシミュレーションの内容について説明してください。時間があれば、旅人は、自分のグループとの相違点を紹介するなどしてください。時間は、移動も含めて10分間です。こちらが合図するまで、意見交換を行ってください。では、移動してください。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 10</p> | <div data-bbox="304 958 692 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>1 事例確認 2 グループ 3 全体 4 グループ 5 まとめ</p>  <p>第3ラウンド:グループ ～考えを深める～</p> </div> | <p>時間になりましたので話し合いをやめてください。次に、第3ラウンドを始めます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 11</p> | <div data-bbox="304 1491 692 1783" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第3ラウンド】 考えを深める</p> <p>旅人は、最初のグループに戻り、移動先で話し合った内容や得た情報などをもとに、意見交換を行う。</p>  </div> | <p>ここでは、旅人のみなさんが、他のグループの考えと自分のグループの考えの違いなど、移動先で得た情報をもとに、元のグループに戻って意見交換を行います。時間は、移動時間を含めて10分間です。では、元のグループに戻って意見交換を始めてください。</p> |

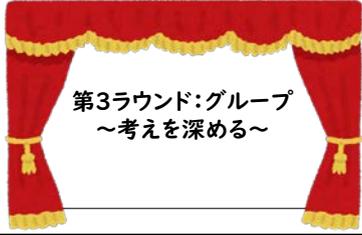
| | | |
|-----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 12</p> |  | <p>時間になりましたので話し合いを止めてください。これで意見交換を終わります。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 13</p> |  | <p>今回のグループでの意見交換では、「教育相談」、「事実確認（聴き取り）」、「保護者対応」、「指導方針の検討」の4つが、大きなキーワードとして見えてきたグループもあったのではないかと思います。これらについて、一人の教員が全てに対応するには無理があります。最初に視聴した動画では、日々の情報を集約する担当者が、情報収集や、緊急性に応じた対応の仮判断を行い、校長先生の承認を得て対応を実行するといった、組織的対応の一例が紹介されていました。このように、実際の場面で運用できる、組織的対応の流れや役割を、私たち一人一人が共通理解しておくことは、いじめの早期対応において、大切なことだと思います。今日は、いじめの事例を基に、組織的対応のシミュレーションをすることで、いつ、誰が、どのような対応を行うのか、ということ具体的に考えました。今日の研修で考えた具体的な組織的対応を、今後、いじめの早期対応が必要になった場合に、役立てていきましょう。また、そのためにも、日頃から、気軽に相談し合える同僚性を大切にしていきたいと思います。</p> |

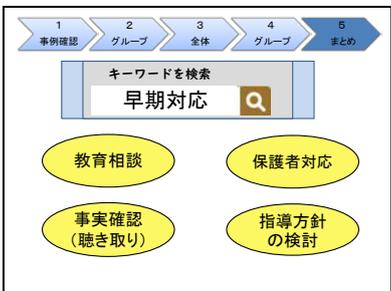
| | | |
|------------------------|--|--|
| ス ラ イ ド 14 | <p> いじめの早期対応におけるシミュレーションを通して、実効性のある組織的対応について考えることができましたか。</p>  | <p>最後に、今回の研修で視聴した動画の補足やいじめの事実確認、教育相談に関する資料を、ハンドブックとしてA3用紙で配付しています。研修の振り返りや、より詳しい内容を知りたい時に参考にしてください。</p> <p>それでは、ここで、校長先生（教頭先生）に御指導をいただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> |
|------------------------|--|--|

| | | |
|----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 1</p> |  <p>いじめの早期対応に関する研修 ②</p> <h3>意見交換</h3> <p>準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個人 <ul style="list-style-type: none"> ・自校の学校いじめ防止基本方針 ・筆記用具 ○各グループ <ul style="list-style-type: none"> ・模造紙 ・付箋(大1、小2種類) ・ペン(黒、赤) | <p>それでは、動画の内容も踏まえながら、いじめの早期対応に関する事例について、意見交換を行います。</p> <p>(準備物の確認を簡単に行う)</p> |
| <p>ス ラ イ ド 2</p> |  <p>ねらい</p> <p>いじめの早期対応について、シミュレーションを行うことで、実効性のあるいじめの組織的対応について考える。</p> | <p>ねらいの確認です。いじめの早期対応の場面で、いつ、だれが、どのように対応するのかといった、いじめの早期対応のシミュレーションをすることで、具体的かつ実現可能な対応の流れについての共通理解を図り、実効性のあるいじめの組織的対応について考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 3</p> |  <h3>意見交換の流れ</h3> <ol style="list-style-type: none"> 1 事例確認 2 第1ラウンド: グループ (30分) 3 第2ラウンド: 全体 (10分) 4 第3ラウンド: グループ (10分) 5 まとめ <p>※シミュレーションはグループで行う。</p> | <p>この時間の意見交換の流れです。今回は、この五つの流れで、意見交換を行います。</p> |

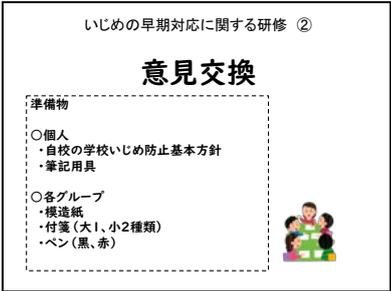
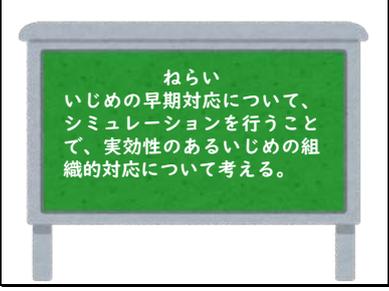
| | | |
|----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 4</p> |  | <p>まずは、事例の確認です。配付している事例資料を御覧ください。今回も、前回と同じ事例を使用します。</p> <p>実際に、この事例が本校で起こったとして、学校が組織としてどのように対応していくのかを、グループでシミュレーションします。シミュレーションの範囲は、ある日の朝、A先生がB子の母親の電話を受けた時点から、翌日の放課後までの、おおよそ2日間とします。この間に、いつ、誰が、どのような対応をするのかということについて、グループで意見交換をします。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 5</p> |  | <p>では、第1ラウンドをはじめます。意見交換は、配付資料「意見交換の進め方」に基づいて進めていきます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 6</p> | <div data-bbox="304 1491 692 1783" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第1ラウンドの手順】 グループの考えをまとめる</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 配付している付箋に、必要な対応を各自記入する。(5分間) (2) マスターを決める。 (3) 模造紙に、内容のまとまりを考えながら付箋を貼る。 (4) まとまった内容について、いつ、誰がそれを実行するのかを考え、付箋小を貼る。  </div> | <p>まず、各グループに配付している大小の付箋のうち、大きい付箋に、A先生が電話を受けた時から、翌日の放課後までに、必要と考えられる対応について、その内容を各自5分で記入してください。枚数は、何枚書いても構いません。なお、いつ、誰がその対応を実行するかは、後で考えますので、対応内容のみを記入してください。では、記入を始めてください。</p> <p>(5分間)</p> |

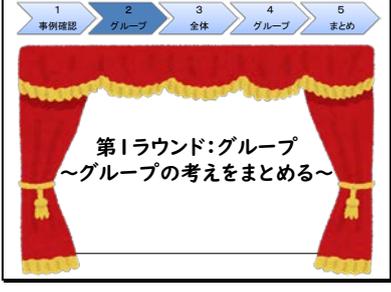
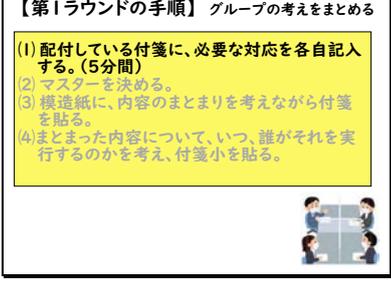
| | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|--|---------|---------|------|---------|------|--|
| <p>ス ラ イ ド 7</p> | <div data-bbox="304 286 692 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第1ラウンドの手順】 グループの考えをまとめる</p> <p>(1) 配付している付箋に、必要な対応を各自記入する。 (2) マスターを決める。 (3) 模造紙に、内容のまとまりを考えながら付箋を貼る。 (4) まとまった内容について、いつ、誰がそれを実行するかを考え、付箋小を貼る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">○付箋大</td> <td style="padding: 2px;">… 必要な対応</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">○付箋小(青)</td> <td style="padding: 2px;">… いつ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">○付箋小(緑)</td> <td style="padding: 2px;">… 誰が</td> </tr> </table>  </div> | ○付箋大 | … 必要な対応 | ○付箋小(青) | … いつ | ○付箋小(緑) | … 誰が | <p>時間になりました。書くのをやめてください。それでは、意見交換を進めていきます。配付資料「意見交換の進め方」を御覧ください。意見交換の時間は25分間です。まず、グループ内でマスターを一人決めてください。マスターは、意見交換の進行と、第2ラウンドで自グループの意見交換の内容の説明をしてもらいます。第1ラウンドでは、各自が記入した付箋を、内容のまとまりを考えながら模造紙に貼っていきます。付箋を貼る時は、どんな内容が書いてあるか、その都度、紹介しながら貼ってください。内容のまとまりがある程度見えてきたら、2色の小さな付箋を使って、いつ、だれがそれを実行するかを考えます。青色の付箋はいつ実行するかのタイミングを、緑の付箋は誰がそれを実行するのかを記入し、模造紙に貼っていきます。対応の流れを考える時は、持参している学校いじめ防止基本方針に基づいて考えます。では、こちらが合図するまで、意見交換をしながら作業を進めてください。</p> |
| ○付箋大 | … 必要な対応 | | | | | | | |
| ○付箋小(青) | … いつ | | | | | | | |
| ○付箋小(緑) | … 誰が | | | | | | | |
| <p>ス ラ イ ド 8</p> | <div data-bbox="300 1384 692 1680" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  <div style="background-color: red; color: white; padding: 10px; border: 1px solid black; margin: 10px 0;"> <p>第2ラウンド: 全体 ~アイデアをシェア~</p> </div>  </div> | <p>時間ですので話し合いをやめてください。次に、グループで出たアイデアを、全体でシェアしていきたいと思います。</p> | | | | | | |

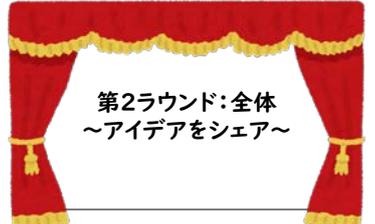
| | | |
|-----------------------------------|---|---|
| <p>ス ラ イ ド 9</p> | <div data-bbox="300 286 694 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第2ラウンドの手順】 アイデアをシェア</p> <p>(1)マスターは、その場に留まる。旅人は、他のグループに移動する。 ※同じグループの人が重ならないようにする。 (2)移動が終わったら、マスターは、自分のグループの対応内容を説明する。 (3)旅人は、「違い」があれば紹介するなど、その場で意見交換を行う。</p>  </div> | <p>各グループのマスターはその場に留まってください。他のメンバーは、旅人として別のグループに自由に移動してください。ただし、同じグループの人が他のグループで重ならないようにしてください。マスターは、旅人が集まったら、自分のグループのシミュレーションの内容について説明してください。時間があれば、旅人は、自分のグループとの相違点を紹介するなどしてください。時間は、移動も含めて10分間です。こちらが合図するまで、意見交換を行ってください。では、移動してください。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 10</p> | <div data-bbox="300 958 694 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> 1 事例確認 2 グループ 3 全体 4 グループ 5 まとめ </div> <div style="text-align: center; padding: 10px;">  <p>第3ラウンド:グループ ～考えを深める～</p> </div> </div> | <p>時間になりましたので話し合いをやめてください。次に、第3ラウンドを始めます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 11</p> | <div data-bbox="300 1491 694 1783" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第3ラウンド】 考えを深める</p> <p>旅人は、最初のグループに戻り、移動先で話し合った内容や得た情報などをもとに、意見交換を行う。</p>  </div> | <p>ここでは、旅人のみなさんが、他のグループの考えと自分のグループの考えの違いなど、移動先で得た情報をもとに、元のグループに戻って意見交換を行います。時間は、移動時間を含めて10分間です。では、元のグループに戻って意見交換を始めてください。</p> |

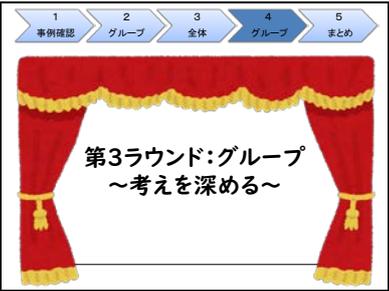
| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| <p>ス ラ イ ド 12</p> |  | <p>時間になりましたので話し合いを止めてください。これで意見交換を終わります。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 13</p> |  | <p>今回のグループでの意見交換では、「教育相談」、「事実確認（聴き取り）」、「保護者対応」、「指導方針の検討」の4つが、大きなキーワードとして見えてきたグループもあったのではないかと思います。これらについて、一人の教員が全てに対応するには無理があります。最初に視聴した動画では、日々の情報を集約する担当者が、情報収集や、緊急性に応じた対応の仮判断を行い、校長先生の承認を得て対応を実行するといった、組織的対応の一例が紹介されていました。このように、実際の場面で運用できる、組織的対応の流れや役割を、私たち一人一人が共通理解しておくことは、いじめの早期対応において、大切なことだと思います。今日は、いじめの事例を基に、組織的対応のシミュレーションをすることで、いつ、誰が、どのような対応を行うのか、ということを具体的に考えました。今日の研修で考えた具体的な組織的対応を、今後、いじめの早期対応が必要になった場合に、役立てていきましょう。また、そのためにも、日頃から、気軽に相談し合える同僚性を大切にしていきたいと思います。</p> |

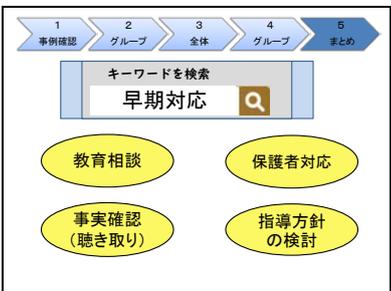
| | | |
|------------------------|--|--|
| ス ラ イ ド 14 | <p> いじめの早期対応におけるシミュレーションを通して、実効性のある組織的対応について考えることができましたか。</p>  | <p>最後に、今回の研修で視聴した動画の補足やいじめの事実確認、教育相談に関する資料を、ハンドブックとしてA3用紙で配付しています。研修の振り返りや、より詳しい内容を知りたい時に参考にしてください。</p> <p>それでは、ここで、校長先生（教頭先生）に御指導をいただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> |
|------------------------|--|--|

| | | |
|----------------------------------|--|---|
| <p>ス ラ イ ド 1</p> |  <p>いじめの早期対応に関する研修 ②</p> <h3>意見交換</h3> <p>準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個人 <ul style="list-style-type: none"> ・自校の学校いじめ防止基本方針 ・筆記用具 ○各グループ <ul style="list-style-type: none"> ・模造紙 ・付箋(大1、小2種類) ・ペン(黒、赤) | <p>それでは、動画の内容も踏まえながら、いじめの早期対応に関する事例について、意見交換を行います。</p> <p>(準備物の確認を簡単に行う)</p> <p>まず、いじめの早期対応に当たって基本となる、本校の学校いじめ防止基本方針の内容を確認します。担当の〇〇先生、よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 2</p> |  <p>ねらい</p> <p>いじめの早期対応について、シミュレーションを行うことで、実効性のあるいじめの組織的対応について考える。</p> | <p>ねらいの確認です。いじめの早期対応の場面で、いつ、だれが、どのように対応するのかといった、いじめの早期対応のシミュレーションをすることで、具体的かつ実現可能な対応の流れについての共通理解を図り、実効性のあるいじめの組織的対応について考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 3</p> |  <p>意見交換の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 事例確認 2 第1ラウンド：グループ (35分) 3 第2ラウンド：全体 (10分) 4 第3ラウンド：グループ (15分) 5 まとめ <p>※シミュレーションはグループで行う。</p> | <p>この時間の意見交換の流れです。今回は、この五つの流れで、意見交換を行います。</p> |

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 4</p> |  <p>1 事例確認 2 グループ 3 全体 4 グループ 5 まとめ</p> <p>事例確認 ~B子の事例~</p> | <p>まずは、事例の確認です。配付している事例資料を御覧ください。今回も、前回と同じ事例を使用します。</p> <p>実際に、この事例が本校で起こったとして、学校が組織としてどのように対応していくのかを、グループでシミュレーションします。シミュレーションの範囲は、ある日の朝、A先生がB子の母親の電話を受けた時点から、翌日の放課後までの、おおよそ2日間とします。この間に、いつ、誰が、どのような対応をするのかということについて、グループで意見交換をします。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 5</p> |  <p>1 事例確認 2 グループ 3 全体 4 グループ 5 まとめ</p> <p>第1ラウンド:グループ ~グループの考えをまとめる~</p> | <p>では、第1ラウンドをはじめます。意見交換は、配付資料「意見交換の進め方」に基づいて進めていきます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 6</p> |  <p>【第1ラウンドの手順】 グループの考えをまとめる</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 配付している付箋に、必要な対応を各自記入する。(5分間) (2) マスターを決める。 (3) 模造紙に、内容のまとまりを考えながら付箋を貼る。 (4) まとまった内容について、いつ、誰がそれを実行するのかを考え、付箋小を貼る。 | <p>まず、各グループに配付している大小の付箋のうち、大きい付箋に、A先生が電話を受けた時から、翌日の放課後までに、必要と考えられる対応について、その内容を各自5分で記入してください。枚数は、何枚書いても構いません。なお、いつ、誰がその対応を実行するかは、後で考えますので、対応内容のみを記入してください。では、記入を始めてください。</p> <p>(5分間)</p> |

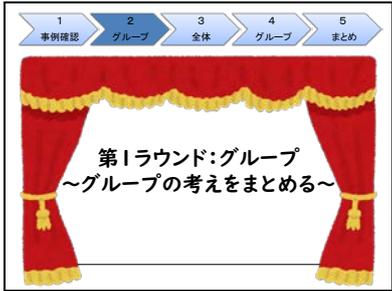
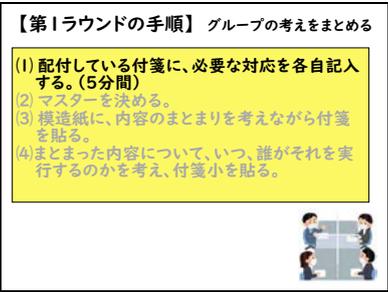
| | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|------|---------|---------|------|---------|------|--|----|------|-----|---|
| <p>ス ラ イ ド 7</p> | <div data-bbox="319 280 710 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第1ラウンドの手順】 グループの考えをまとめる</p> <p>(1) 配付している付箋に、必要な対応を各自記入する。</p> <p>(2) マスターを決める。</p> <p>(3) 模造紙に、内容のまとまりを考えながら付箋を貼る。</p> <p>(4) まとまった内容について、いつ、誰がそれを実行するかを考え、付箋小を貼る。</p> <table border="0" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td>○付箋大</td> <td>… 必要な対応</td> </tr> <tr> <td>○付箋小(青)</td> <td>… いつ</td> </tr> <tr> <td>○付箋小(緑)</td> <td>… 誰が</td> </tr> </table>  </div> | ○付箋大 | … 必要な対応 | ○付箋小(青) | … いつ | ○付箋小(緑) | … 誰が | <p>時間になりました。書くのをやめてください。それでは、意見交換を進めていきます。配付資料「意見交換の進め方」を御覧ください。意見交換の時間は30分間です。まず、グループ内でマスターを一人決めてください。マスターは、意見交換の進行と、第2ラウンドで自グループの意見交換の内容の説明をしてもらいます。第1ラウンドでは、各自が記入した付箋を、内容のまとまりを考えながら模造紙に貼っていきます。付箋を貼る時は、どんな内容が書いてあるか、その都度、紹介しながら貼ってください。内容のまとまりがある程度見えてきたら、2色の小さな付箋を使って、いつ、だれがそれを実行するかを考えます。青色の付箋はいつ実行するかのタイミングを、緑の付箋は誰がそれを実行するのかを記入し、模造紙に貼っていきます。対応の流れを考える時は、持参している学校いじめ防止基本方針に基づいて考えます。では、こちらが合図するまで、意見交換をしながら作業を進めてください。</p> | | | | |
| ○付箋大 | … 必要な対応 | | | | | | | | | | | |
| ○付箋小(青) | … いつ | | | | | | | | | | | |
| ○付箋小(緑) | … 誰が | | | | | | | | | | | |
| <p>ス ラ イ ド 8</p> | <div data-bbox="319 1388 710 1680" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="0" style="margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事例確認</td> <td style="text-align: center;">グループ</td> <td style="text-align: center;">全体</td> <td style="text-align: center;">グループ</td> <td style="text-align: center;">まとめ</td> </tr> </table>  <p style="text-align: center;">第2ラウンド:全体 ～アイデアをシェア～</p> </div> | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 事例確認 | グループ | 全体 | グループ | まとめ | <p>時間ですので話合いをやめてください。次に、グループで出たアイデアを、全体でシェアしていきたいと思います。</p> |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | | | | | | |
| 事例確認 | グループ | 全体 | グループ | まとめ | | | | | | | | |

| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| <p>ス ラ イ ド 9</p> | <p>【第2ラウンドの手順】 アイデアをシェア</p> <p>(1)マスターは、その場に留まる。旅人は、他のグループに移動する。 ※同じグループの人が重ならないようにする。 (2)移動が終わったら、マスターは、自分のグループの対応内容を説明する。 (3)旅人は、「違い」があれば紹介するなど、その場で意見交換を行う。</p>  | <p>各グループのマスターはその場に留まってください。他のメンバーは、旅人として別のグループに自由に移動してください。ただし、同じグループの人が他のグループで重ならないようにしてください。マスターは、旅人が集まったら、自分のグループのシミュレーションの内容について説明してください。時間があれば、旅人は、自分のグループとの相違点を紹介するなどしてください。時間は、移動も含めて10分間です。こちらが合図するまで、意見交換を行ってください。では、移動してください。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 10</p> |  | <p>時間になりましたので話し合いをやめてください。次に、第3ラウンドを始めます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 11</p> | <p>【第3ラウンド】 考えを深める</p> <p>旅人は、最初のグループに戻り、移動先で話し合った内容や得た情報などをもとに、意見交換を行う。</p>  | <p>ここでは、旅人のみなさんが、他のグループの考えと自分のグループの考えの違いなど、移動先で得た情報をもとに、元のグループに戻って意見交換を行います。時間は、移動時間を含めて15分間です。では、元のグループに戻って意見交換を始めてください。</p> |

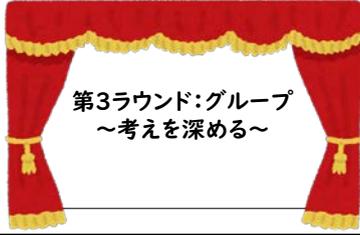
| | | |
|-----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 12</p> |  | <p>時間になりましたので話し合いをやめてください。これで意見交換を終わります。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 13</p> |  | <p>今回のグループでの意見交換では、「教育相談」、「事実確認（聴き取り）」、「保護者対応」、「指導方針の検討」の4つが、大きなキーワードとして見えてきたグループもあったのではないかと思います。これらについて、一人の教員が全てに対応するには無理があります。最初に視聴した動画では、日々の情報を集約する担当者が、情報収集や、緊急性に応じた対応の仮判断を行い、校長先生の承認を得て対応を実行するといった、組織的対応の一例が紹介されていました。このように、実際の場面で運用できる、組織的対応の流れや役割を、私たち一人一人が共通理解しておくことは、いじめの早期対応において、大切なことだと思います。今日は、いじめの事例を基に、組織的対応のシミュレーションをすることで、いつ、誰が、どのような対応を行うのか、ということ具体的に考えました。今日の研修で考えた具体的な組織的対応を、今後、いじめの早期対応が必要になった場合に、役立てていきましょう。また、そのためにも、日頃から、気軽に相談し合える同僚性を大切にしていきたいと思います。</p> |

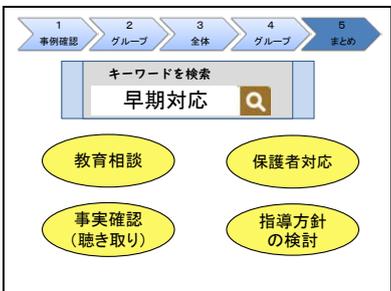
| | | |
|------------------------|--|--|
| ス ラ イ ド 14 |  <p>いじめの早期対応におけるシミュレーションを通して、実効性のある組織的対応について考えることができましたか。</p> | <p>最後に、今回の研修で視聴した動画の補足やいじめの事実確認、教育相談に関する資料を、ハンドブックとしてA3用紙で配付しています。研修の振り返りや、より詳しい内容を知りたい時に参考にしてください。</p> <p>それでは、ここで、校長先生（教頭先生）に御指導をいただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> |
|------------------------|--|--|

| | | |
|----------------------------------|--|---|
| <p>ス ラ イ ド 1</p> | | <p>それでは、事前に視聴いただいた動画の内容も踏まえながら、いじめの早期対応に関する事例について、意見交換を行います。</p> <p>(準備物の確認を簡単に行う)</p> <p>まず、いじめの早期対応に当たって基本となる、本校の学校いじめ防止基本方針の内容を確認します。担当の〇〇先生、よろしくお願いいたします。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 2</p> | | <p>ねらいの確認です。いじめの早期対応の場面で、いつ、だれが、どのように対応するのかといった、いじめの早期対応のシミュレーションをすることで、具体的かつ実現可能な対応の流れについての共通理解を図り、実効性のあるいじめの組織的対応について考えます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 3</p> | | <p>この時間の意見交換の流れです。今回は、この五つの流れで、意見交換を行います。</p> |

| | | |
|----------------------------------|---|--|
| <p>ス ラ イ ド 4</p> |  | <p>まずは、事例の確認です。配付している事例資料を御覧ください。今回も、前回と同じ事例を使用します。</p> <p>実際に、この事例が本校で起こったとして、学校が組織としてどのように対応していくのかを、グループでシミュレーションします。シミュレーションの範囲は、ある日の朝、A先生がB子の母親の電話を受けた時点から、翌日の放課後までの、おおよそ2日間とします。この間に、いつ、誰が、どのような対応をするのかということについて、グループで意見交換をします。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 5</p> |  | <p>では、第1ラウンドをはじめます。意見交換は、配付資料「意見交換の進め方」に基づいて進めていきます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 6</p> |  | <p>まず、各グループに配付している大小の付箋のうち、大きい付箋に、A先生が電話を受けた時から、翌日の放課後までに、必要と考えられる対応について、その内容を各自5分で記入してください。枚数は、何枚書いても構いません。なお、いつ、誰がその対応を実行するかは、後で考えますので、対応内容のみを記入してください。では、記入を始めてください。</p> <p>(5分間)</p> |

| | | | | | | | | |
|----------------------------------|--|-----------|-----------|----------|-----------|----------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 7</p> | <div data-bbox="304 286 692 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第1ラウンドの手順】 グループの考えをまとめる</p> <p>(1) 配付している付箋に、必要な対応を各自記入する。 (2) マスターを決める。 (3) 模造紙に、内容のまとまりを考えながら付箋を貼る。 (4) まとまった内容について、いつ、誰がそれを実行するかを考え、付箋小を貼る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">○付箋大</td> <td style="padding: 2px;">… 必要な対応</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">○付箋小(青)</td> <td style="padding: 2px;">… いつ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">○付箋小(緑)</td> <td style="padding: 2px;">… 誰が</td> </tr> </table>  </div> | ○付箋大 | … 必要な対応 | ○付箋小(青) | … いつ | ○付箋小(緑) | … 誰が | <p>時間になりました。書くのをやめてください。それでは、意見交換を進めていきます。配付資料「意見交換の進め方」を御覧ください。意見交換の時間は30分間です。まず、グループ内でマスターを一人決めてください。マスターは、意見交換の進行と、第2ラウンドで自グループの意見交換の内容の説明をしてもらいます。第1ラウンドでは、各自が記入した付箋を、内容のまとまりを考えながら模造紙に貼っていきます。付箋を貼る時は、どんな内容が書いてあるか、その都度、紹介しながら貼ってください。内容のまとまりがある程度見えてきたら、2色の小さな付箋を使って、いつ、だれがそれを実行するかを考えます。青色の付箋はいつ実行するかのタイミングを、緑の付箋は誰がそれを実行するのかを記入し、模造紙に貼っていきます。対応の流れを考える時は、持参している学校いじめ防止基本方針に基づいて考えます。では、こちらが合図するまで、意見交換をしながら作業を進めてください。</p> |
| ○付箋大 | … 必要な対応 | | | | | | | |
| ○付箋小(青) | … いつ | | | | | | | |
| ○付箋小(緑) | … 誰が | | | | | | | |
| <p>ス ラ イ ド 8</p> | <div data-bbox="304 1384 692 1684" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <table style="width: 100%; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">1 事例確認</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">2 グループ</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">3 全体</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">4 グループ</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">5 まとめ</td> </tr> </table>  <p>第2ラウンド:全体 ~アイデアをシェア~</p> </div> | 1 事例確認 | 2 グループ | 3 全体 | 4 グループ | 5 まとめ | <p>時間ですので話し合いを止めてください。次に、グループで出たアイデアを、全体でシェアしていきたいと思います。</p> | |
| 1 事例確認 | 2 グループ | 3 全体 | 4 グループ | 5 まとめ | | | | |

| | | |
|-----------------------------------|--|---|
| <p>ス ラ イ ド 9</p> | <div data-bbox="300 286 692 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第2ラウンドの手順】 アイデアをシェア</p> <p>(1)マスターは、その場に留まる。旅人は、他のグループに移動する。 ※同じグループの人が重ならないようにする。 (2)移動が終わったら、マスターは、自分のグループの対応内容を説明する。 (3)旅人は、「違い」があれば紹介するなど、その場で意見交換を行う。</p>  </div> | <p>各グループのマスターはその場に留まってください。他のメンバーは、旅人として別のグループに自由に移動してください。ただし、同じグループの人が他のグループで重ならないようにしてください。マスターは、旅人が集まったら、自分のグループのシミュレーションの内容について説明してください。時間があれば、旅人は、自分のグループとの相違点を紹介するなどしてください。時間は、移動も含めて15分間です。こちらが合図するまで、意見交換を行ってください。では、移動してください。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 10</p> | <div data-bbox="300 958 692 1249" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> 1 事例確認 2 グループ 3 全体 4 グループ 5 まとめ </div> <div style="text-align: center; padding: 10px;">  <p>第3ラウンド:グループ ～考えを深める～</p> </div> </div> | <p>時間になりましたので話し合いをやめてください。次に、第3ラウンドを始めます。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 11</p> | <div data-bbox="300 1491 692 1783" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【第3ラウンド】 考えを深める</p> <p>旅人は、最初のグループに戻り、移動先で話し合った内容や得た情報などをもとに、意見交換を行う。</p>  </div> | <p>ここでは、旅人のみなさんが、他のグループの考えと自分のグループの考えの違いなど、移動先で得た情報をもとに、元のグループに戻って意見交換を行います。時間は、移動時間を含めて15分間です。では、元のグループに戻って意見交換を始めてください。</p> |

| | | |
|-----------------------------------|--|--|
| <p>ス ラ イ ド 12</p> |  | <p>時間になりましたので話し合いをやめてください。これで意見交換を終わります。</p> |
| <p>ス ラ イ ド 13</p> |  | <p>今回のグループでの意見交換では、「教育相談」、「事実確認（聴き取り）」、「保護者対応」、「指導方針の検討」の4つが、大きなキーワードとして見えてきたグループもあったのではないかと思います。これらについて、一人の教員が全てに対応するには無理があります。最初に視聴した動画では、日々の情報を集約する担当者が、情報収集や、緊急性に応じた対応の仮判断を行い、校長先生の承認を得て対応を実行するといった、組織的対応の一例が紹介されていました。このように、実際の場面で運用できる、組織的対応の流れや役割を、私たち一人一人が共通理解しておくことは、いじめの早期対応において、大切なことだと思います。今日は、いじめの事例を基に、組織的対応のシミュレーションをすることで、いつ、誰が、どのような対応を行うのか、ということ具体的に考えました。今日の研修で考えた具体的な組織的対応を、今後、いじめの早期対応が必要になった場合に、役立てていきましょう。また、そのためにも、日頃から、気軽に相談し合える同僚性を大切にしていきたいと思います。</p> |

| | | |
|------------------------|--|--|
| ス ラ イ ド 14 | <p> いじめの早期対応におけるシミュレーションを通して、実効性のある組織的対応について考えることができましたか。</p>  | <p>最後に、今回の研修で視聴した動画の補足やいじめの事実確認、教育相談に関する資料を、ハンドブックとしてA3用紙で配付しています。研修の振り返りや、より詳しい内容を知りたい時に参考にしてください。</p> <p>それでは、ここで、校長先生（教頭先生）に御指導をいただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> |
|------------------------|--|--|

「意見交換の進め方」

第1ラウンド:グループ ▶ グループの考えをまとめる

- (1) 配付している付箋に、必要な対応を各自記入する。(5分間)
- (2) マスターを決める。(残りのメンバーは「旅人」)
- (3) 模造紙に、内容のまとまりを考えながら付箋を貼る。(裏面の参考図参照)
- (4) まとまった内容について、いつ、誰がそれを実行するのかを考え、付箋小を貼る。

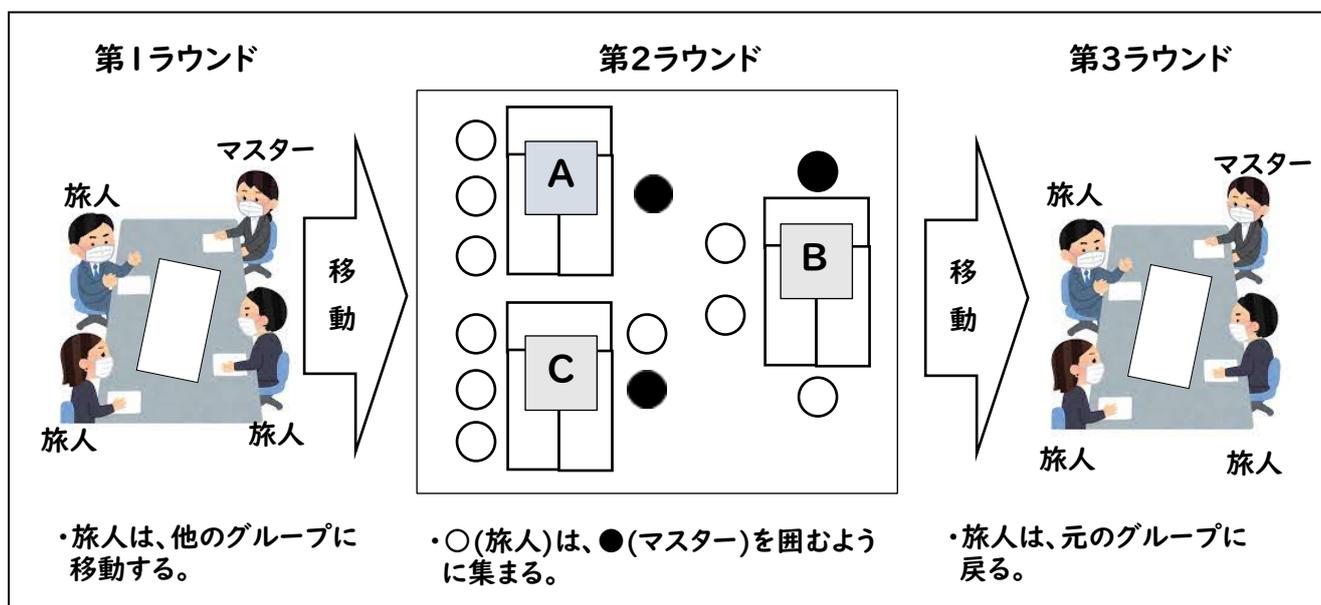
第2ラウンド:全体 ▶ アイデアをシェア

- (1) マスターはその場に留まる。旅人は他のグループに移動する。
- (2) 移動が終わったら、マスターは、自分のグループの対応内容を説明する。
- (3) 旅人は、「違い」があれば紹介するなど、その場で意見交換を行う。

第3ラウンド:グループ ▶ 考えを深める

旅人は、最初のグループに戻り、移動先で話し合った内容や得た情報などをもとに、意見交換を行う。

(意見交換のイメージ図)



(参考)

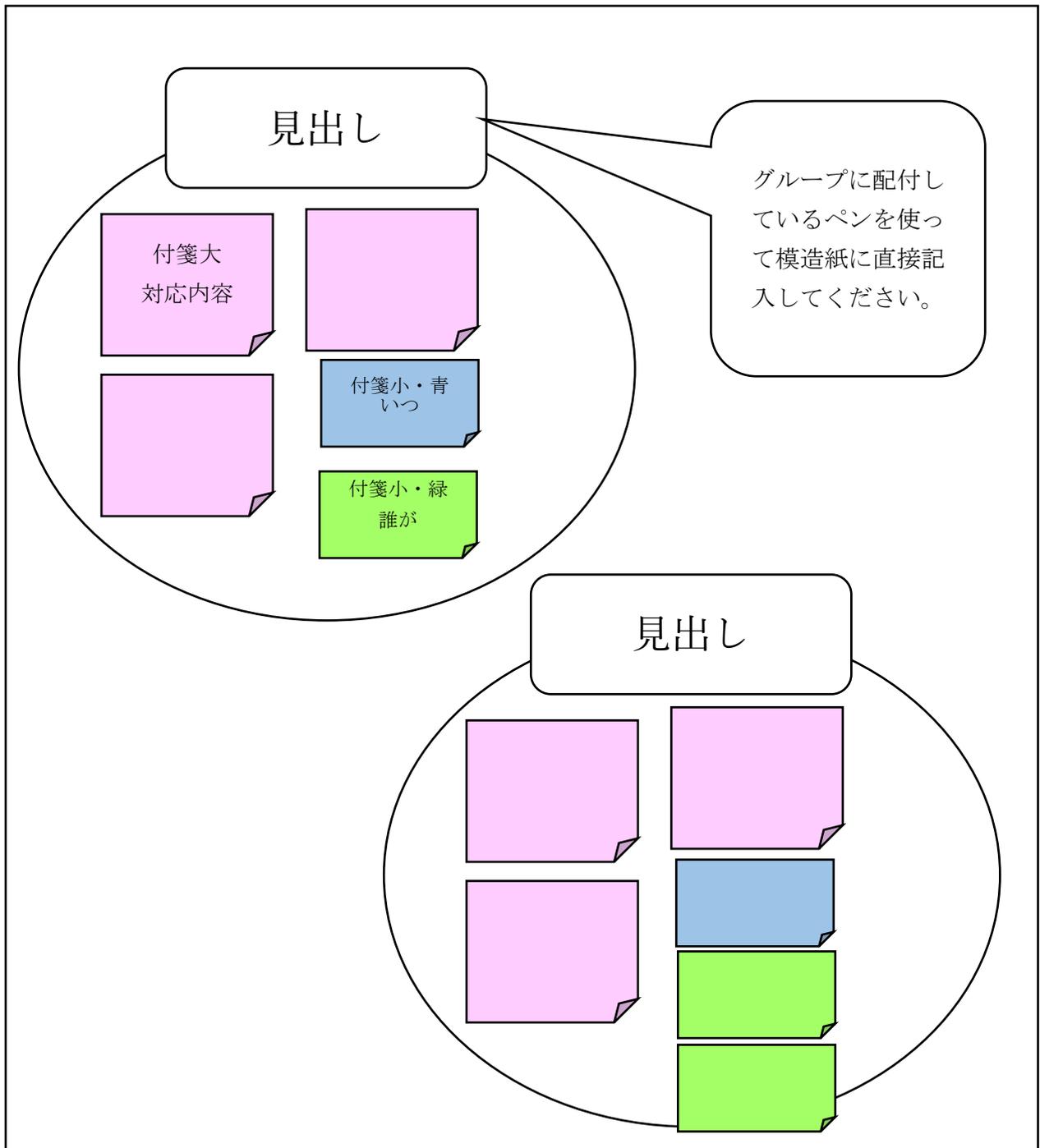
☆**マスター**

意見交換の際、進行をする。また、自分のグループでまとめた意見を旅人に説明する。

☆**旅人**

第2ラウンドで、他のグループに移動し、情報収集や意見交換を行う。

第1ラウンド 模造紙のイメージ図



いじめの早期対応ハンドブック ②

このハンドブックについて

このハンドブックは、動画資料の要旨及び補足資料になります。研修を振り返りたいときや、より詳しく知りたいときに御活用ください。

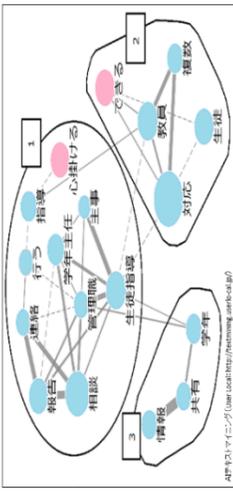


実効性のあるいじめの組織的対応の構築に向けて

先生方は組織的対応を意識している

普段の生徒指導の取組を振り返ると

生徒指導は複数の教員で対応するという点について、あなたが心掛けていたことは？



愛媛県総合教育センター「いじめの早期対応に関するアンケート」の結果 令和3年

一人で対応してうまくいかなかった経験 18%

普段の生徒指導の取組を振り返ると

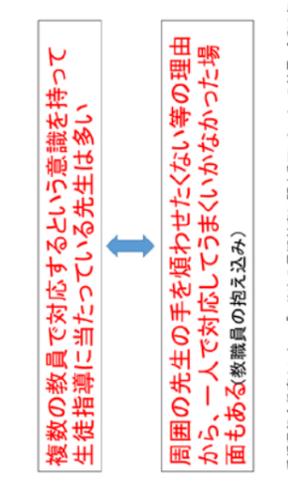
生徒指導上のことを一人で対応してうまくいかなかったことがありましたか？



愛媛県総合教育センター「いじめの早期対応に関するアンケート」の結果 令和3年

アンケート結果から

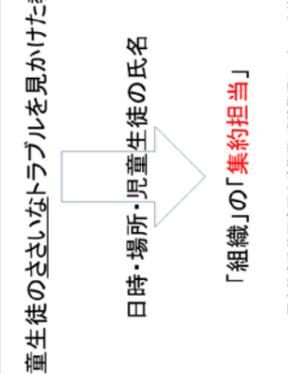
「いじめの早期対応に関するアンケート」の結果から



愛媛県総合教育センター「いじめの早期対応に関するアンケート」の結果 令和3年

実効的な組織的対応に向けて

いじめの早期対応における実効的な組織的対応に向けて



国立教育政策研究所生徒指導・進路指導センター 生徒指導リーフレット19 学校の「組織」で行ういじめの「認知」の手順

集約担当の役割

いじめの早期対応における実効的な組織的対応に向けて

「組織」の「集約担当」の役割

- 日々の情報を、整理、記録、集約する
- 各事案の緊急性に応じた対応の仮判断を行う
- 校長の承認を得て、対応を実行に移す

国立教育政策研究所生徒指導・進路指導センター 生徒指導リーフレット19 学校の「組織」で行ういじめの「認知」の手順

「生徒指導は複数の教員で対応する」ということについて、あなたが心掛けていたことは？」の質問に対する回答をAIテキストマイニングで分析した結果、県内の多くの先生方は、**報告、連絡、相談をすることや複数の教員で対応すること、情報を共有することを心掛けており、組織的対応を普段から意識していることが分かります。**また、主な相談相手は、同僚の教員が最も多く、身近な教員に相談しながら対応している姿を確認することができました。

一方、「生徒指導上のことを一人で対応してうまくいかないことがありましたか？」の質問に対して、**18%の先生方が一人で対応してうまくいかなかったことがあり、回答しました。**これは、組織的対応の重要性が繰り返し強調されている現在、決して低い割合とは言えません。また、一人で対応した理由としては、「周囲の先生方の手を煩わせたくない」「自分一人で何とかなるだろうと思った」などの意見が多く挙げられていました。

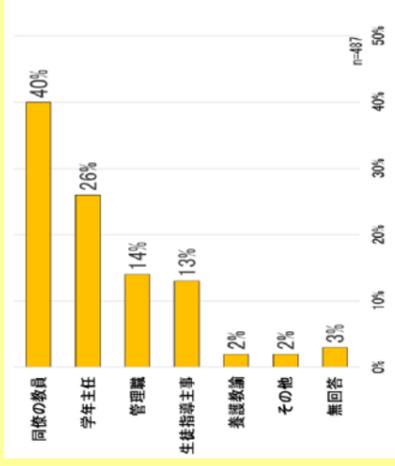
これらのことから、多くの先生方が組織的対応や同僚性の大切さを意識しているものの、周囲の先生方の手を煩わせたくないといった理由で、一人で問題を抱え込んでしまい、解決に至らないこともあるということが推察できます。こうした課題を防ぐためには、**情報共有、対応の流れを具体化する**ことが大切であると考えます。それにより、**いじめの早期対応における組織的対応に実効性を持たせることができると考えます。**

日々発生する事案の全てを「組織」の全メンバーが、顔をそろえて検討することには無理があります。しかし、ささいに思える問題の放置が重大なトラブルに発展する可能性もあります。そこで、**実効性のある組織的対応の工夫として、校内にいじめの情報を集約する担当者置くことが考えられます。**具体的には、児童生徒のささいなトラブルを見かけた教員は、事案の内容、日時、場所、関係児童生徒氏名等を集約担当者に、簡潔にかつ速やかに伝えます。

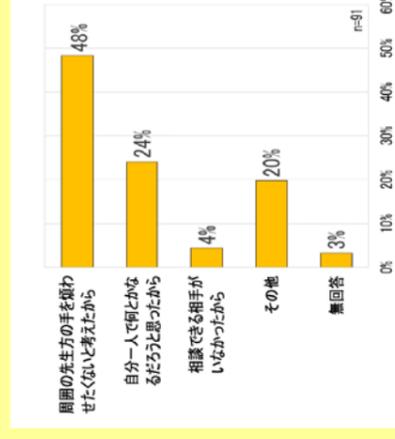
集約担当者は、集まった情報を整理し、例えば、すぐに組織を集めて協議が必要であるとか、数日、子どもの様子を観察するとか、または、一過性のものであると判断して記録のみにとどめておくなど、**緊急性についての仮判断を行い、校長先生の承認を得て、実際に対応していきま**す。これは実効的な組織的対応の一例です。各学校の学校いじめ防止基本方針をベースにして、具体的な対応の流れや体制を検討する必要があります。

資料

主な相談相手



一人で対応してうまくいかなかった理由

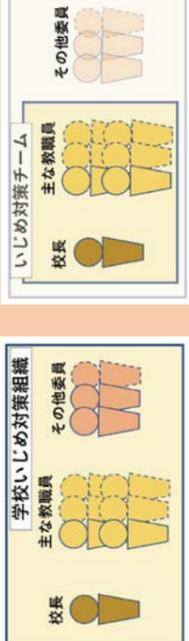


いじめの早期対応に関するアンケート調査

愛媛県総合教育センター教育相談室では、令和3年度に「いじめの早期対応に関するアンケート調査」を行いました。東・中・南予の小・中・高等学校及び特別支援学校から、それぞれ一部の学校を抽出し、教諭、養護教諭、講師を対象にしました。有効回答数は503件でした。詳しいアンケート結果と考察は、各校に配付している「教育研究紀要(第88集)」(愛媛県総合教育センター)を御覧ください。

対策組織の構成例

実効性のある組織的対応を行うためには、実行可能な組織の構成と運用をする必要があります。ここで紹介する構成例を参考にしてください。



法律に示されている「当該学校の複数の教職員」「心理、福祉等に関する専門的な知識を有するその他の関係者」を加えたものです。(SC等の参加も可)

校内のいじめに関わる様々な取組を行う際に積極的に関わる可能性の高い常勤の教職員を当てます。(SC等の参加も可)

「報告窓口」を1名ないし複数名、うち1名を集約担当に当てます。報告を受けるとともに、その後の対応をコーディネートします。

参考：いじめ問題対応の留意点

point 事実確認と教育相談の目的の違い

事実確認は、教育相談とは異なります。教育相談は、将来に向けて支援していくものですが、事実確認は過去に目を向け、出来事を思い出し整理することを目的に行います。しかし、実際の聞き取りの際には、両方の目的を持って子どもの話を聴くこととなります。事実確認としての目的を達成するために、次のようなことに注意しましょう。

- オープンマインド（偏見のない、中立・公正な態度）で話を聴く。
- 原則として二人で話を聞く（複数人になることで圧力とならないよう、記録者は、質問者の後方に座り筆記に徹する）
- 聴き取りは、一回で済ませることが望ましい。
- まずは子どもからの自発的な報告を聴き、その上で、必要な WH 質問を行う。
- 後半で子どもが話していない事柄について WH 質問を行い、話を補完する。

point いじめの事実確認の際の聴き取り項目と伝えたいこと

- | | |
|--|--|
| <p>被害児童生徒に対して</p> <p>〈聴き取り項目〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関わっている児童生徒（「誰があなたに嫌なことをしたの？」） ○いじめの内容（「どんなことがあったの？」） ○周囲の様子や状況（「周りの人はどうしていたの？」） ○「他に見たり知っていたりする人はいない？」 ○場所（「どこで起こったの？」） ○日時または期間（「いつのこと？」） ○いつから続いているの？」 ○現在の気持ちや希望（「今、どう思う？」） ○「してほしいことは何？」 ○伝えたいこと ○被害児童生徒を守りたいという姿勢 ○秘密を守ること ○学校はいじめを許さないこと ○いつでも相談に乗ること ○留意点 ○「いじめが存在する」という視点で臨む ○被害児童生徒の立場や心情を理解する ○自信を取り戻せるように言葉を掛ける | <p>加害児童生徒に対して</p> <p>〈聴き取り項目〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関わっている児童生徒（「あなたが〇〇さんにしたの？」） ○「他に関わっている人はいらる？」 ○いじめの内容（「どんなことをしたの？」） ○周囲の様子や状況（「周りの人はどうしていたの？」） ○「他に見たり知っていたりする人はいない？」 ○場所（「どこで起こったの？」） ○日時または期間（「いつのこと？」） ○いつから続いているの？」 ○いじめに至る理由や言い分（「そのようなことをしたのは、何が理由なの？」） ○「あなたの気持ちを教えて。」 ○伝えたいこと ○加害児童生徒の言い分も聴くこと ○被害児童生徒の心情 ○いじめが許されない行為であること ○いつでも相談に乗ること ○留意点 ○「いじめである」と決めつけない ○事実確認を優先し、児童生徒の言い分は、その後で聴く ○被害児童生徒の立場で、自身の言動を考えさせる |
|--|--|



いじめの早期対応における保護者への支援

資料 がいじめ被害者の保護者への対応

- 即日、事実を説明する（報告）
- ※すべての事実が確認できていない場合は、憶測でものをつたえない。学校が複数の教員で事実の確認を翌日中に進め、再度報告することを伝える。
- 学校管理下でのいじめについては、児童生徒につき思いをさせてしまったことについてしっかりと謝罪する（謝罪）
- 学校は、子どもを守り、早期解決に向かうことを伝える（安心）
- 保護者からも、子どもの傷ついた気持ちを聞いてもらうようお願いする（協力）
- 学校の解決に向けた具体的な方針を伝え、協議する（協議）
- 保護者のつらさや不安を受け止める（共感的理解）

がいじめ加害者の保護者への対応

- 即日、事実を説明する（報告）
- ※すべての事実が確認できていない場合は、憶測でものをつたえない。学校が複数の教員で事実の確認を翌日中に進め、再度報告することを伝える。
- 保護者の怒り・情けなさ・自責の念・不安を理解する（共感的理解）
- 問題と関係のないものまで話を広げない（焦点化）
- 教師と保護者が共に児童生徒を育てる姿勢を示す（協力）
- 加害者が「非」に気付き、内省が図られるよう助言する（内省）
- 被害者の保護者への謝罪や児童生徒の対応について助言する（助言）

新潟市教育委員会「いじめ・不登校の初期対応ガイドブック（いじめ編）」平成30年

起こりやすい失敗

子どもや保護者の話を聴く際に起こりやすい失敗です。改善のポイントを確かめましょう。

1 話を最後まで聞かず、意見を言ってしまう



改善のポイントは、話は最後まで聴き、結論を急がないことです。仕事に追われていると、解決を急ぎ、「その場で結論を出そう」「納得させよう」「約束させよう」としたくなります。教員のペースで聴かず、相談者から出てくる考えを大切にします。

2 過度な説教や指導をしてしまう



改善のポイントは、相談者の気持ちを聴き出し、解決の手伝いをする事です。教員は、普段指導することが多いため、相談者の話を聴かず、考えを押し付けることがあります。問題を解決するのは相談者です。相談者の気持ちに寄り添いながら相談を進めます。

3 保護者の気持ちに気付かない



改善のポイントは、保護者との視点の違いを考慮しながら、着地点を探ることです。教員はクラス全体を見ているのに対して保護者は、自分の子どもだけを見がちです。この違いから、保護者の意見と「ずれ」が生じる場合があります。保護者の気持ちに寄り添いながら話を聴きます。

愛媛県総合教育センター 教育相談室

TEL089-963-3986

※子どもとその保護者及び教職員を対象に、教育に関する相談・支援を行っています。